

**ICクレジットカードに関する調査**  
**【結果報告書】**

2006年9月

日本クレジットカード協会

**JCCA**

---

# 目次

---

調査概要 .....	1
調査結果(総括) .....	3
調査結果の各論	
. 回答者属性	
1. クレジットカードの利用状況 .....	11
. クレジットカードの安全性への意識	
1. クレジットカードの利便性、安全性への不満 .....	12
2. 売上票について .....	13
. ICクレジットカードの認知・所有状況	
1. ICクレジットカードの認知 .....	14
2. ICクレジットカードの利用方法や現状の認知 .....	15
3. ICクレジットカードの利用方法や現状の認知 .....	16
4. ICクレジットカードの利用方法や現状の認知 .....	17
5. ICクレジットカードの利用方法や現状の認知 .....	18
6. ICクレジットカードの所有 .....	19
7. ICクレジットカードの所有 .....	20
8. ICクレジットカードの所有 .....	21
9. ICクレジットカードの所有枚数、利用状況 .....	22
. ICクレジットカードの暗証番号	
1. 暗証番号の照会方法について.....	23
2. 暗証番号の入力について .....	24
3. 暗証番号の入力について .....	25
4. 暗証番号の入力について .....	26
5. 暗証番号入力機について.....	27
. ICクレジットカードの利用意向	
1. 今後のクレジットカードの利用意向 .....	28
2. 今後のクレジットカードの利用意向 .....	29
3. ICクレジットカードを選ぶ理由 .....	30
4. ICクレジットカードを選ぶ理由 .....	31
5. 従来式(磁気)カードを選ぶ理由 .....	32

## 調査概要

- 【調査目的】 クレジットカードの安全性に対する消費者の意識、ICクレジットカードの知識を把握するため
- 【調査対象】 20歳～69歳の男女(クレジットカード保有者のみ)
- 【調査地域】 全国
- 【調査方法】 インターネット調査
- 【抽出方法】 調査会社インターネットモニターより性・年代ごとに無作為抽出  
各性・年代のサンプル数が均等になるようにサンプルを割り当てた

### < 回収サンプルの内訳 >

	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳
男性	57	70	76	77	85
女性	58	61	69	92	68

注)実際の集計にあたっては、上記の各性・年代のサンプル数が均等になるように、ウエイト付け集計を行った。

- 【サンプル数】 設定 1700サンプル  
回収 713サンプル (回収率 41.9%)
- 【調査時期】 2006年8月2日(木)～8月7日(月)
- 【調査主体】 日本クレジットカード協会
- 【調査実施機関】 株式会社日経リサーチ

## 調査結果(総括)

---

## 調査結果(総括)

---

ICクレジットカードの認知状況では、「内容まで知っている」は37%、「聞いたことがある」まで含めた認知度は87%で、存在自体は大多数の人が認知するようになっているといえる。特に、「内容まで知っている」人は、前回(05年)調査の33%よりやや増加している。<クレジットカード業界全体として順次、従来式(磁気)からICクレジットカードへ切り替えが進んでいる>ことについても、全体の57%が認知している。

ICクレジットカードの現在の保有率は47%で、前回(42%)より5ポイント上昇している。認知度だけでなく、実際の保有のほうも進みつつあることがわかる。ICクレジットカード保有者に、<店頭でICクレジットカードでの支払いの際、暗証番号の入力を求められたことがあるか>たずねたところ、「ある」と答えた人は58%と前回(41%)より増加した。ただ、<暗証番号の入力をよく求められるか>では、「よく求められるようになった」は37%にとどまり、「まだあまり求められない」が54%。店頭への端末設置の過渡期であることもあり、利用経験者は6割にのぼるが、利用機会はまだ少ないことがうかがえる。

また、<ICクレジットカード対応端末設置加盟店では、原則サインの代わりに暗証番号入力で利用できる>ことの認知度は50%となり、前回(39%)より上昇した。利用経験者が増えたことで認知度も上昇したことがわかる。

今後の利用意向については、ICクレジットカードの利用意向者が92%と大半を占め、従来式(磁気)の利用意向者は8%であった。その理由としては、「偽造される心配がない」(63%)との回答が最も多く、次いで「暗証番号が必要なので他人に使われる心配が少ない」(59%)があげられた。

今後クレジットカードを利用する場合の加盟店としては、「ICクレジットカード対応端末を設置している店」を選ぶ人が56%と半数以上を占め、「従来式(磁気)端末を設置している店」を選ぶ人は1%に満たなかった。

これらの結果から、ICクレジットカードの安全性が消費者に高く評価されていることがうかがえる。

<どんな条件が整えばICクレジットカードを利用したいと思うか>たずねたところ、「IC機能が利用できる端末が普及したら」と答えた人が半数以上であり、ICクレジットカード普及上の課題といえそうだ。

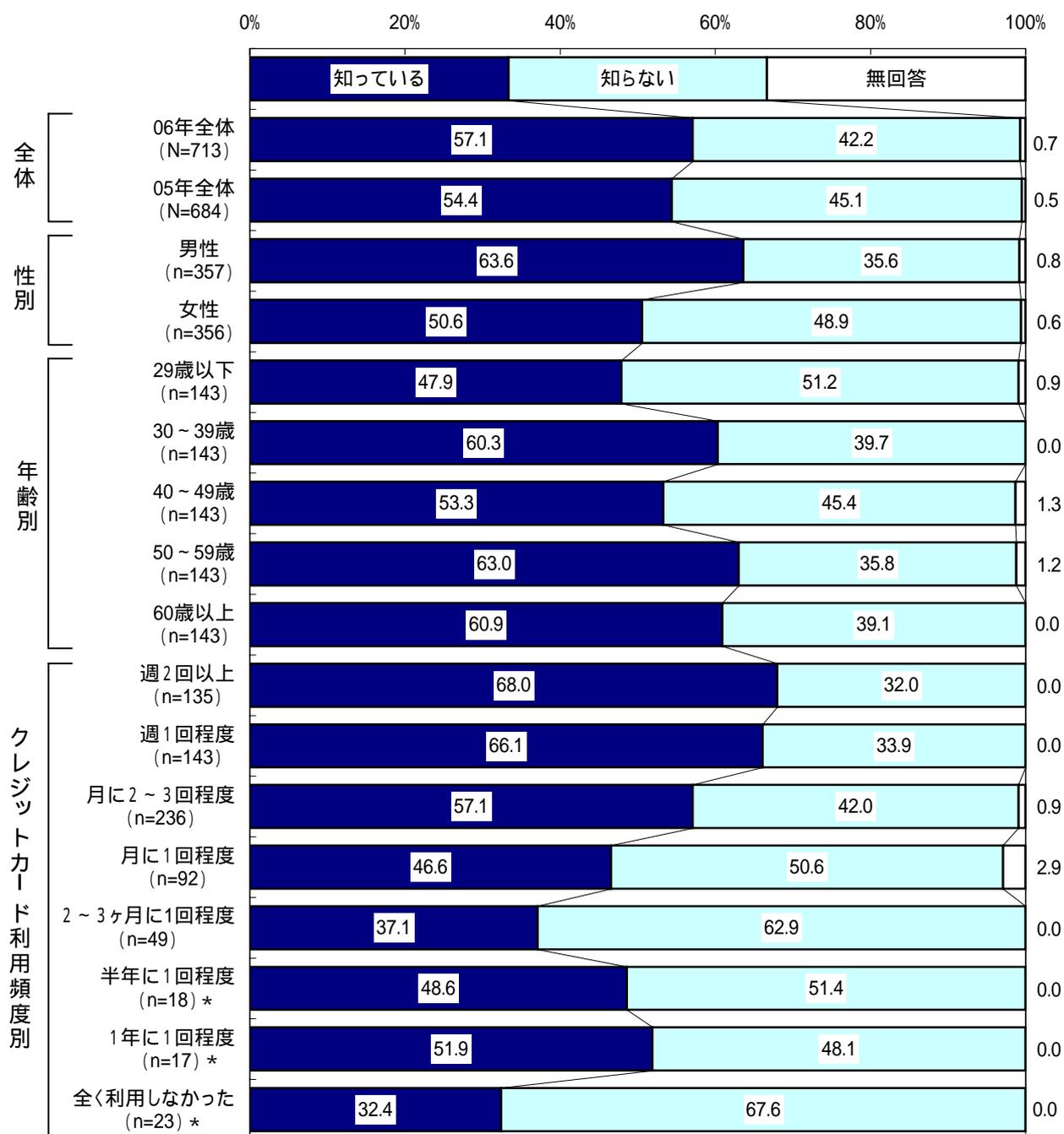
(主な調査結果については、次ページ以降をご参照下さい。)

## 調査結果(総括)

### ICクレジットカード推進状況に関する認知度

<クレジットカード業界全体として順次、従来式(磁気)からICクレジットカードへ切り替えが進んでいる> ことについては、クレジットカード保有者の57%が認知しており、認知は徐々に進んでいるといえる。クレジットカード利用頻度別でみると、利用頻度が高くなるにつれ認知度も高くなる傾向がみられる。

<クレジットカード業界全体として順次、従来式(磁気)からICクレジットカードへ切り替えが進んでいる> ことの認知状況



\* サンプルが少ないため、参考値

前回(05年)調査は「銀行系カード会社を中心に、順次、従来式(磁気)からICクレジットカードへ切り替えが進んでいる」で測定

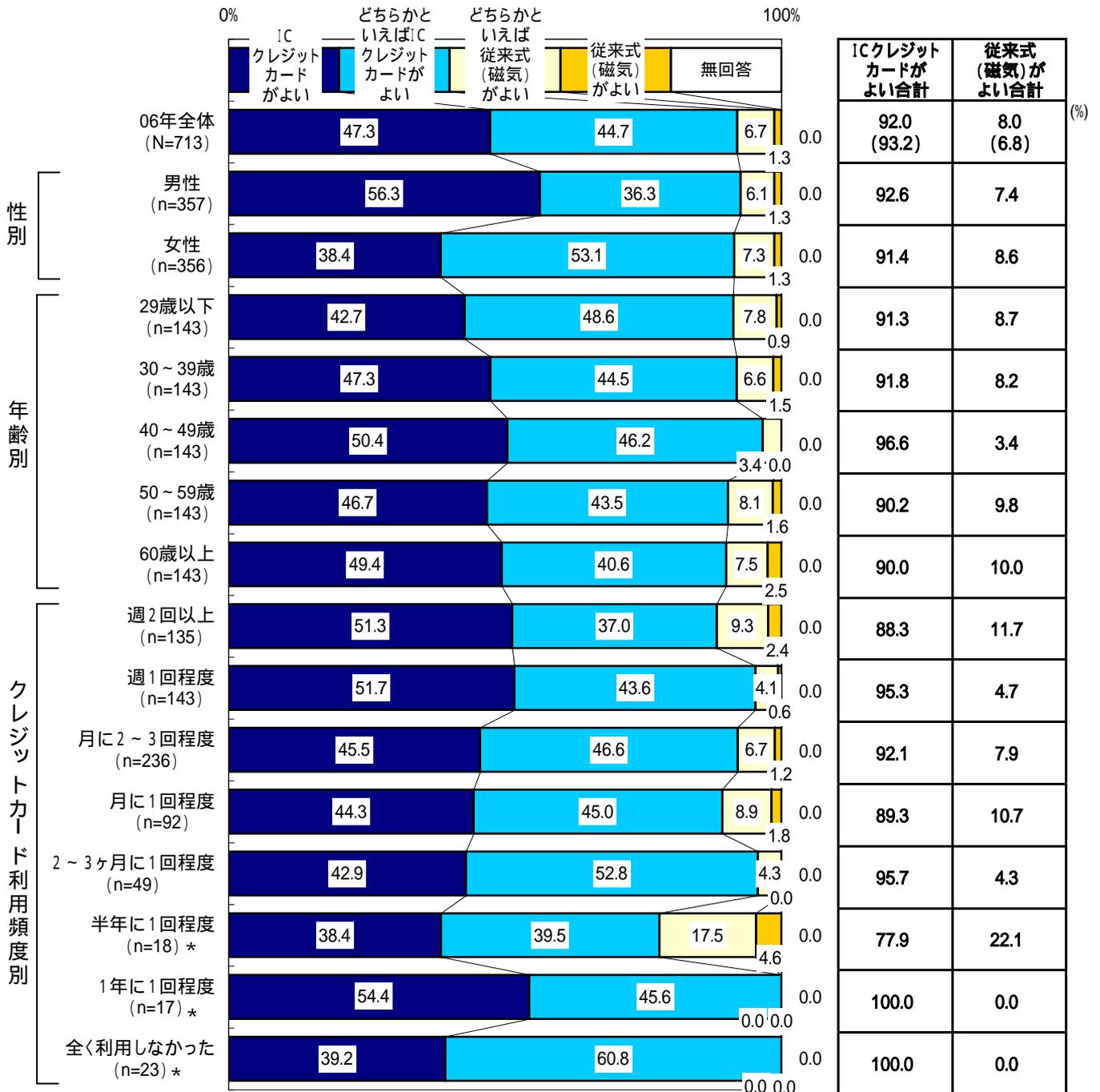
# 調査結果(総括)

## 今後のクレジットカードの利用意向

今後のクレジットカードの利用意向は、ICクレジットカード支持(ICクレジットカードがよい+どちらかといえばICクレジットカードがよい)は全体の9割を超え、従来式(磁気)カード支持は1割未満にとどまる。

どの属性においても、圧倒的にICクレジットカードが支持されており、クレジットカード会社がICカードへの切り替えを進めることに期待感はあるものの、それに抵抗を感じる人は少ないといえる。

### 今後のクレジットカードの利用意向<ICクレジットカードか従来式(磁気)か>



下段( )内は05年のスコア

前回(05年)は、「ICクレジットカードがよい」、「従来式(磁気)がよい」で測定

\* サンプルが少ないため、参考値

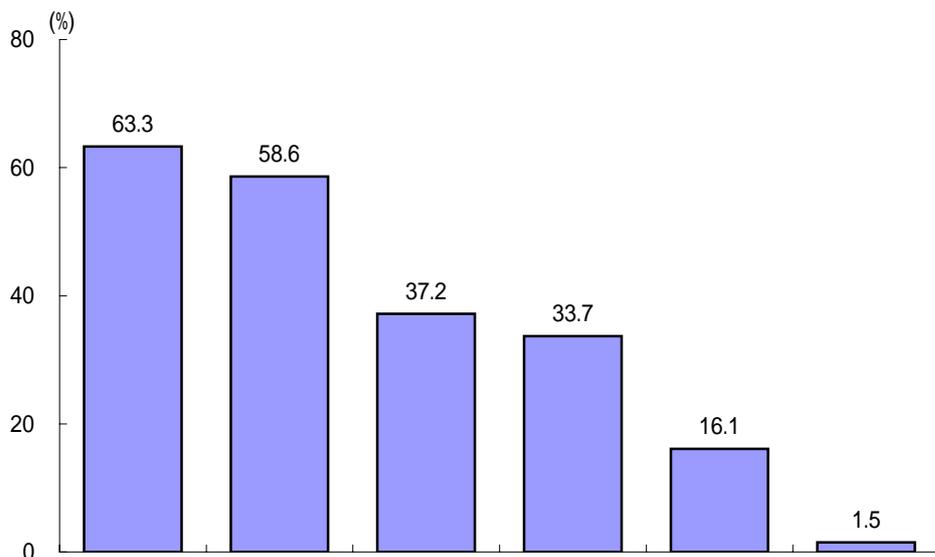
## 調査結果(総括)

### カードを選択する理由(ICクレジットカードを選択する理由)

今後クレジットカードを使う場合「ICクレジットカードがよい」と回答した理由としては、「偽造される心配がない」(63%)が最も多い。次いで「暗証番号が必要なので他人に使われる心配が少ない」(59%)と続く。ICクレジットカードの安全性が評価されているといえる。

### 「ICクレジットカードがよい」と考える理由

(n=656)



性別			偽造される心配がない	暗証番号が必要なので、他人に使われる心配が少ない	カードを見かえなくて済むから	サインではなく、暗証番号が済むので、暗証番号入力がかからないから	従来式(磁気)よりも決済処理が速いから	その他
	男性	(n=330)	66.1	54.0	32.5	36.3	16.0	1.5
女性	(n=326)	60.5	63.3	42.0	31.1	16.2	1.4	
年齢別	29歳以下	(n=130)	60.0	49.5	26.7	34.3	17.2	1.9
	30～39歳	(n=131)	67.5	56.9	37.9	29.1	16.8	0.8
	40～49歳	(n=138)	59.1	56.7	36.4	32.1	13.0	2.8
	50～59歳	(n=129)	63.2	60.8	39.4	33.8	17.1	1.8
	60歳以上	(n=128)	66.8	69.4	45.9	39.5	16.7	0.0

\*全体値より5ポイント以上高いスコアに網掛け

## 調査結果(総括)

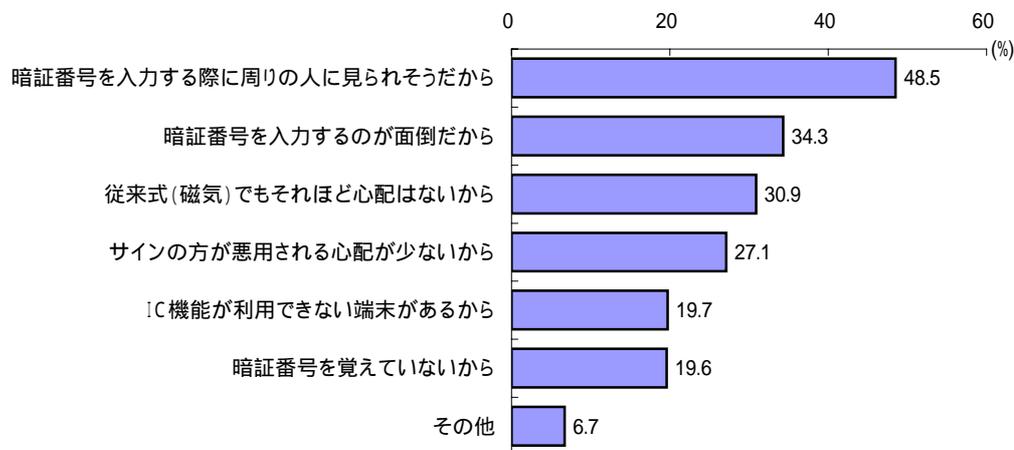
### カードを選択する理由(従来式(磁気)クレジットカードを選択する理由)

今後クレジットカードを使う場合「従来式(磁気)クレジットカードがよい」と回答した理由としては、「暗証番号を入力するのが周りの人に見られそうだから」が最も多く49%で、2位以下に14ポイントの差をつけている。

どんな条件が整えばICクレジットカードを利用したいと思うかたずねたところ、「IC機能が利用できる端末が普及したら」が半数以上であり、利用条件が整えば利用意向も高まるといえる。

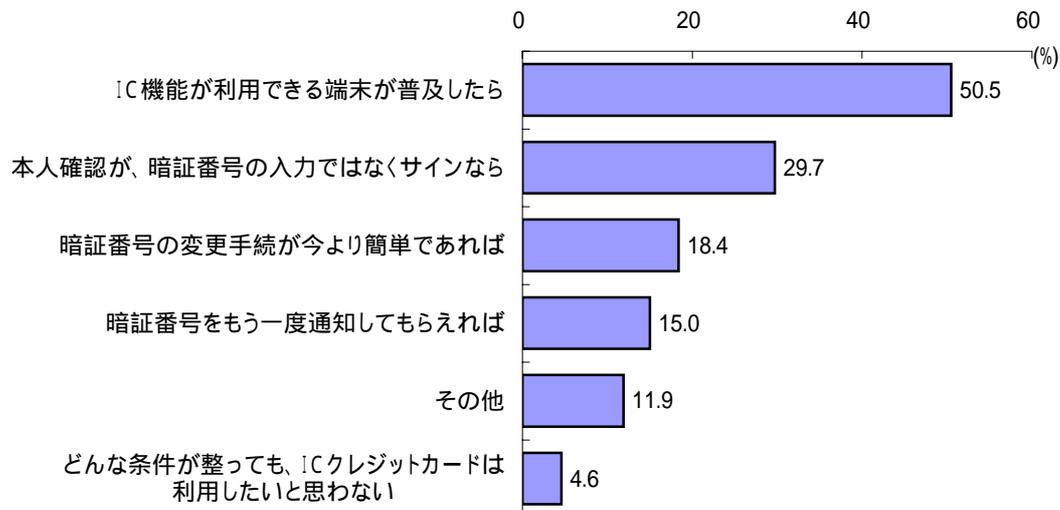
#### 「従来式(磁気)クレジットカードがよい」と考える理由

(n=57)



#### 「ICクレジットカードを利用したい」と思う利用条件

(n=57)

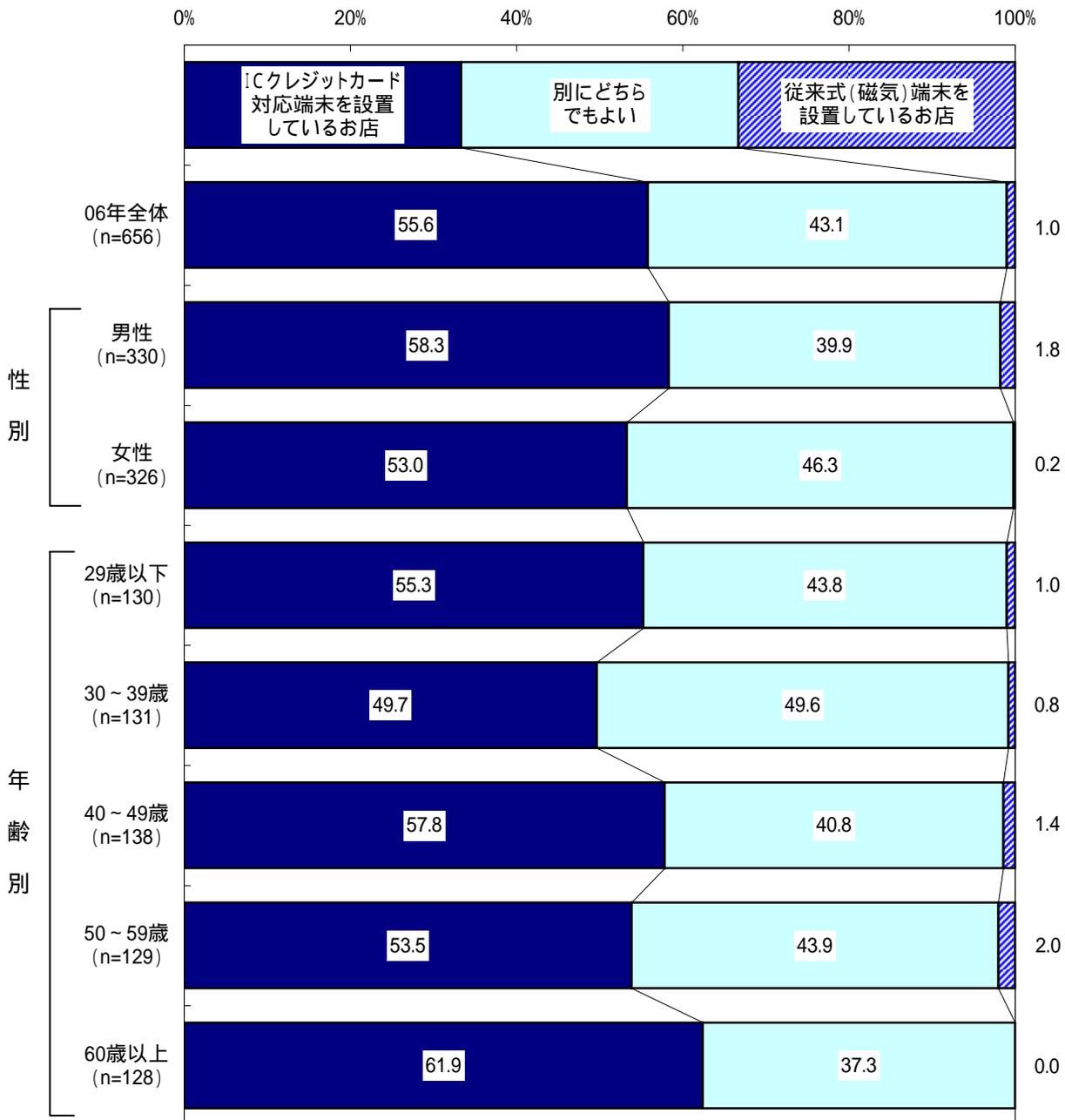


## 調査結果(総括)

### IC端末設置加盟店の利用意向

ICクレジットカードを支持する人に利用希望店舗をたずねたところ、「ICクレジットカード対応端末を設置している店」を選ぶ人が全体の56%と半数以上を占め、「従来式(磁気)対応端末を設置している店」を選ぶ人はごく少数であった。

### 今後クレジットカードを使う場合の利用希望店舗



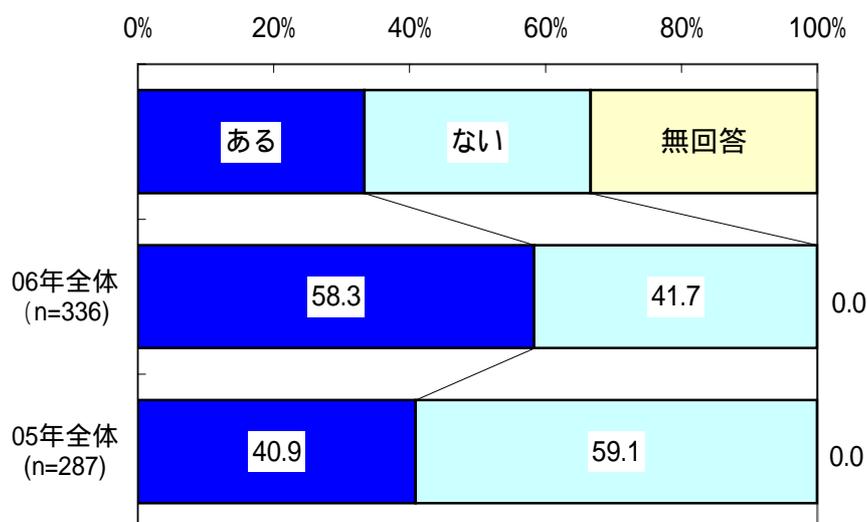
## 調査結果(総括)

### 暗証番号の利用状況

ICクレジットカード所有者に、店頭で支払いの際に暗証番号の入力を求められたことがあるかたずねたところ、「ある」と答えた人は58%で、前回(41%)より17ポイント増加している。

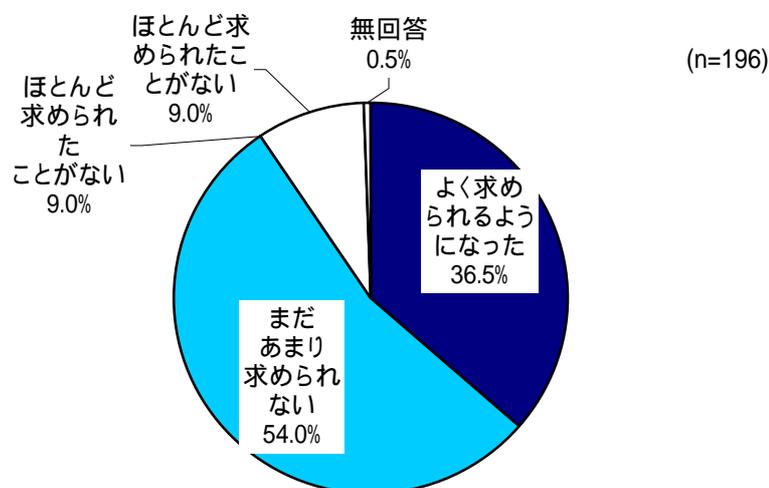
ただ、よく求められるかたずねたところ、過半数が「まだあまり求められない」と回答している。暗証番号入力の利用経験はあるものの、現状では利用機会はさほど多くないといえる。

### 店頭での暗証番号の利用経験 < 入力を求められたことがあるか >



前回(05年)調査は「店頭で支払いの際、暗証番号の入力を求められたことがありますか。」で測定

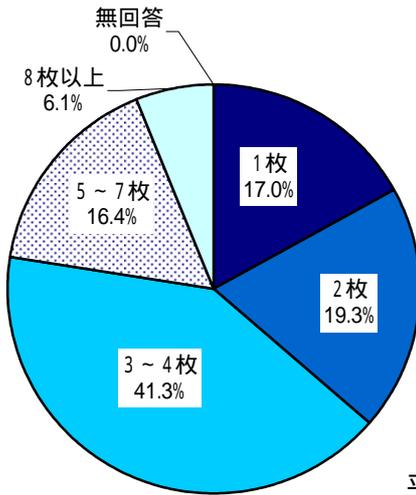
### 店頭での暗証番号入力の利用機会



## 調査結果の各論

Q2. あなたは現在クレジットカードを合計で何枚持っていますか。(ひとつだけ)

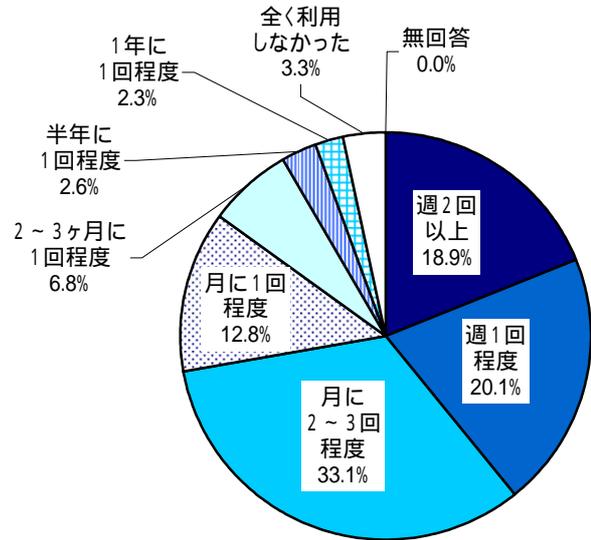
(N=713)



平均 3.6枚

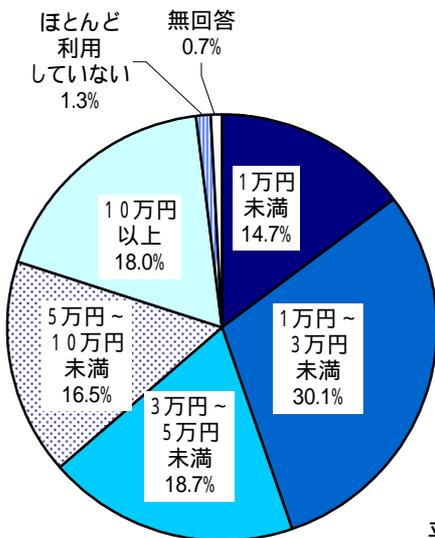
Q3. 最近一年間で、あなたはどのくらいの頻度でクレジットカードを利用しましたか。(ひとつだけ)

(N=713)



Q4. (Q3で「全く利用しなかった」以外をお答えの方に) 最近一年間で、あなたは月平均いくらぐらいクレジットカードを利用しましたか。(ひとつだけ)

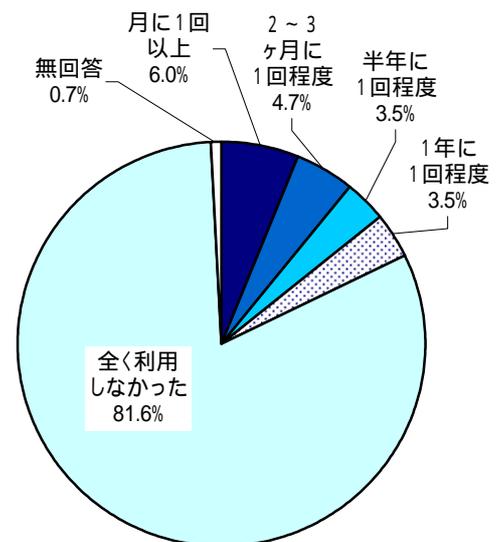
(n=690)



平均 4.9万円

Q5. (Q3で「全く利用しなかった」以外をお答えの方に) 最近一年間で、あなたはどのくらいの頻度でキャッシング機能を利用しましたか。(ひとつだけ)

(n=690)



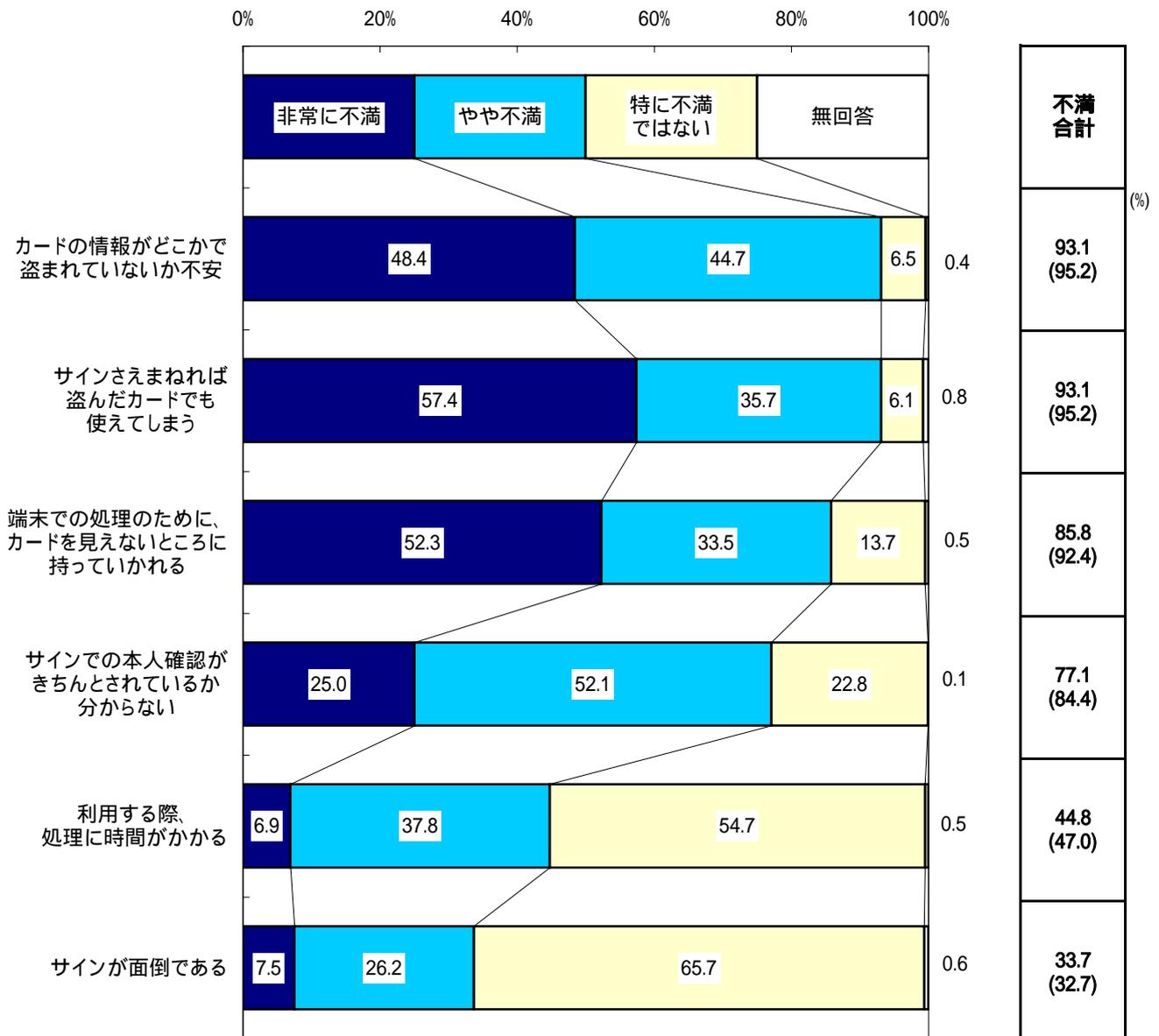
クレジットカードの利便性、安全性の不満点についてたずねた。

不満度(非常に不満 + やや不満)が高いのは、『カードの情報がどこかで盗まれていないか不安』、『サインさえまねれば盗んだカードでも使えてしまう』(ともに93%)。次いで、『端末での処理のために、カードを見えないところに持っていかれる』(86%)を含めた上位3項目は8割以上にのぼる。特に、『サインさえまねれば盗んだカードでも使えてしまう』は『非常に不満』と答えた人が6割近くと多い。

一方、不満度が低かったのは『サインが面倒である』で、7割近くが『特に不満ではない』と回答している。利便性に対する不満は比較的小さく、カードの盗難やスキミングに対する不安感が大きいことがわかる。

Q9. あなたは、クレジットカードの利便性、安全性に関する以下の点について、どの程度不満に思いますか。(それぞれひとつずつ)

(N=713)



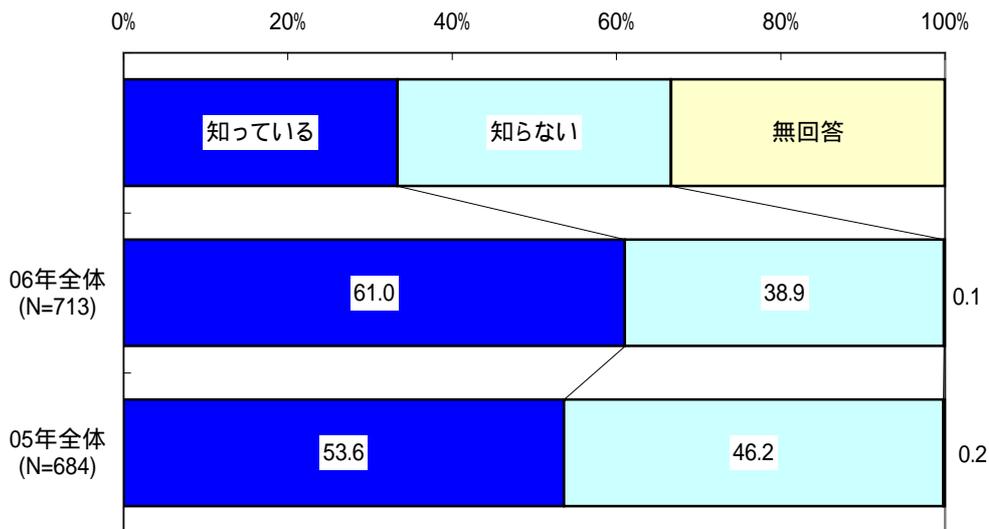
下段( )内は前回(05年)調査のスコア

売上票(お客様控え)に記載されるクレジットカードの番号が一部省略(非表示)されるようになってきたことを「知っている」人は6割。前回より認知度は上昇している。

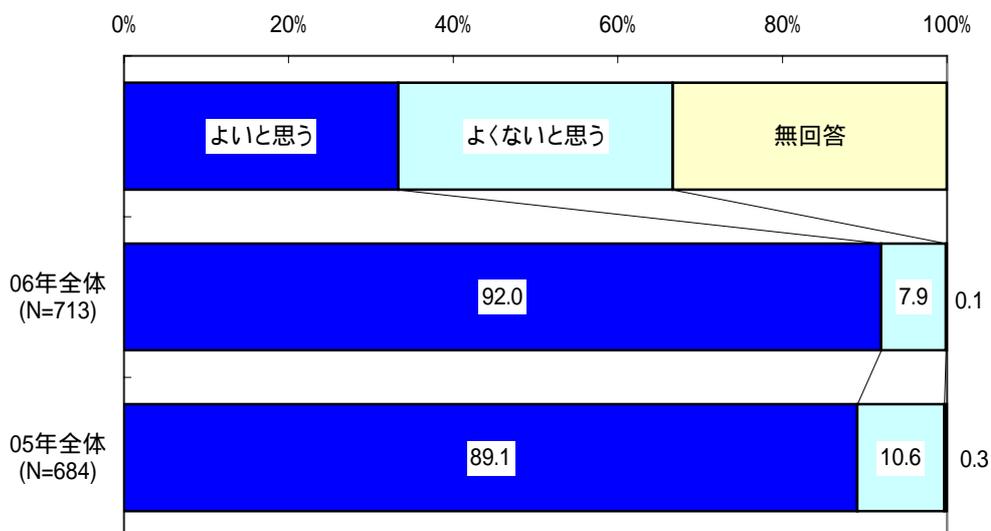
カード番号を省略(非表示)することについては、「よいと思う」と回答した人が圧倒的で9割強にのぼる。

全体の3分の2がカード番号の省略(非表示)を肯定的に認知しており、番号を何らかの形で盗まれること、悪用されることへの不安感、抵抗感の強さがあらわれている。

Q23. あなたは最近、売上票(お客様控え)に記載されるクレジットカードの番号が一部省略されるようになってきたことをご存知ですか。(ひとつだけ)

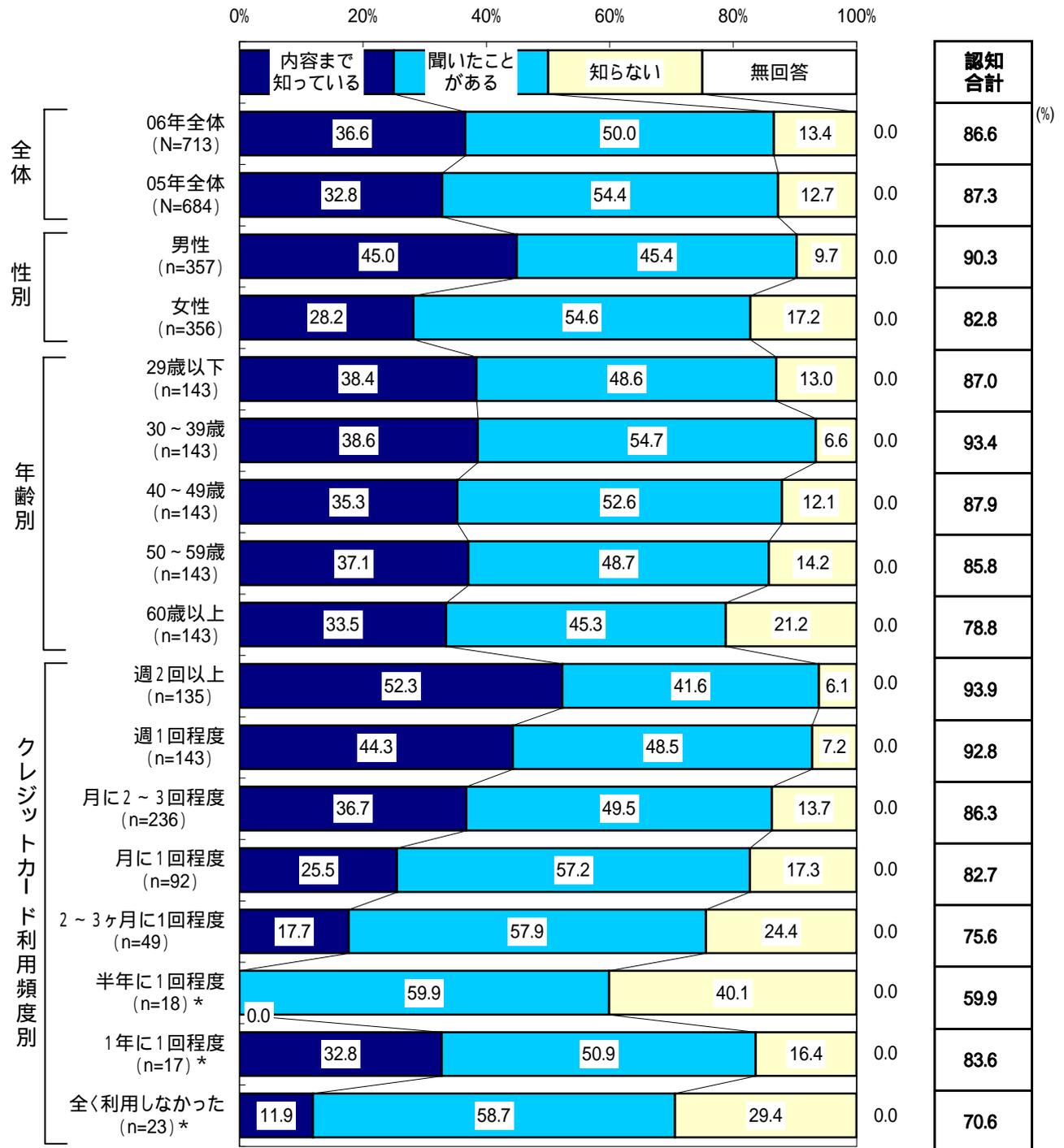


Q24. あなたは、売上票(お客様控え)のカード番号が省略されていることについてどう思いますか。(ひとつだけ)



ICクレジットカードの認知状況を見ると、「内容まで知っている」人は37%、「聞いたことがある」まで含めた認知度は87%。認知合計でみると前回と比べて大きな差は見られないが、「内容まで知っている」は前回より4ポイントとやや上昇している。詳しく知っている人はまだ限定的であるものの、少しずつ認知は進んでいるといえる。性別では男性の認知度が9割と高く、「内容まで知っている」(45%)は女性を17ポイント上回る。年齢別では、30代の認知度が9割を超える。クレジットカード利用頻度別でみると、利用頻度が高くなるほど「内容まで知っている」割合が高まり、週2回以上の高頻度利用層では半数を超える。ヘビーユーザーの間では、サービス内容の理解度も高いことがわかる。

Q11. あなたは、「ICクレジットカード」についてご存知でしたか。(ひとつだけ)



\* サンプルが少ないため、参考値

ICクレジットカードの利用方法や現状についての認知状況を調べた。

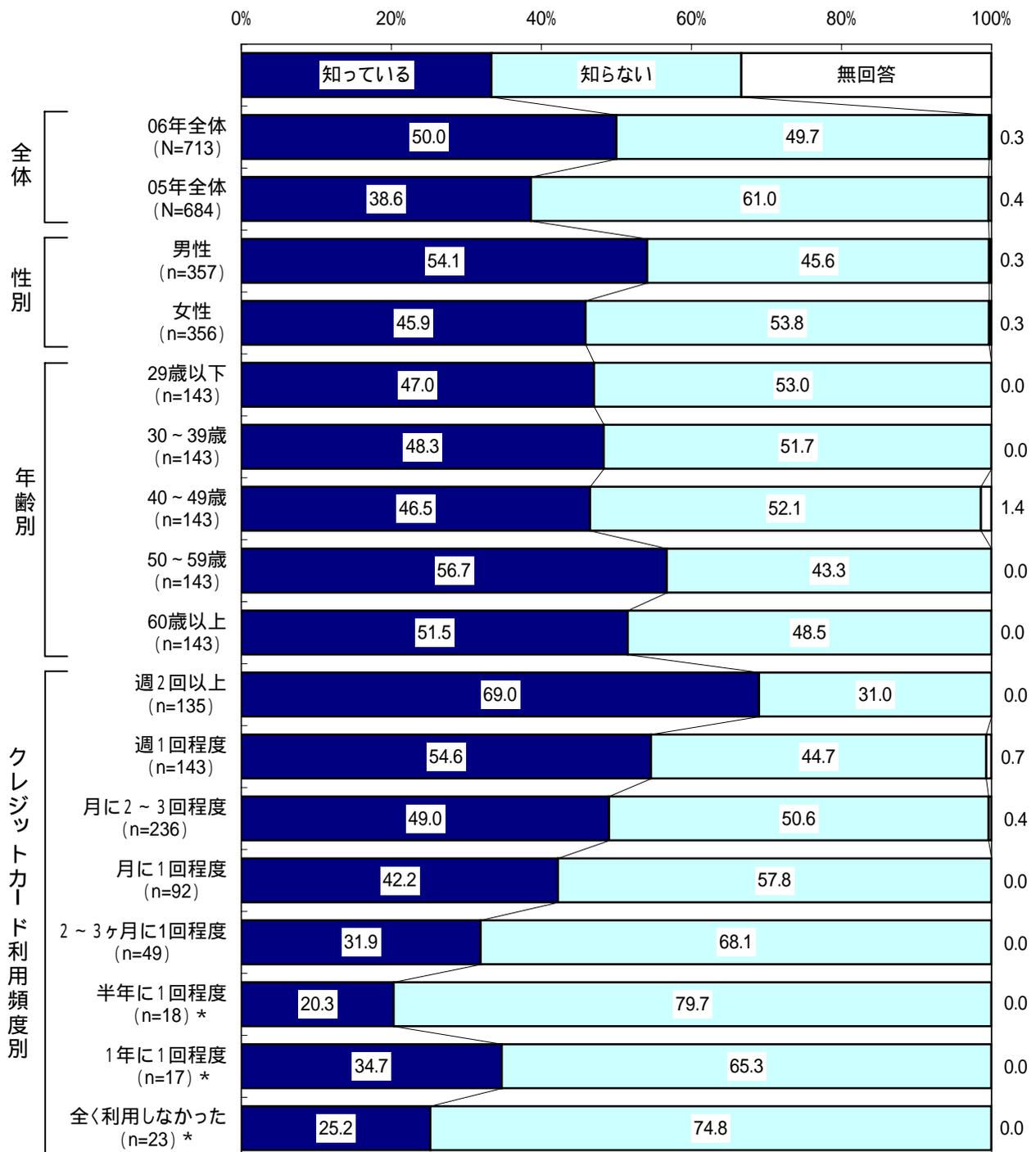
まず、<ICクレジットカード対応端末設置加盟店では、原則サインの代わりに暗証番号入力で利用できる>ことについては、全体の半数が「知っている」と回答している。前回に比べ11ポイント増加した。

性別で見ると、男性で「知っている」人は半数以上を占めるが、一方、女性の半数以上は「知らない」と回答している。

クレジットカード利用頻度別では、週2回以上の高頻度利用層の認知度が7割と高い。認知状況は利用頻度(接触機会)と明らかな相関があるといえる。

Q12. あなたは、以下にあげる「ICクレジットカード」の利用方法や現状をご存知ですか。(それぞれひとつずつ)

1. ICクレジットカード対応端末設置加盟店では、原則サインの代わりに暗証番号入力で利用できる

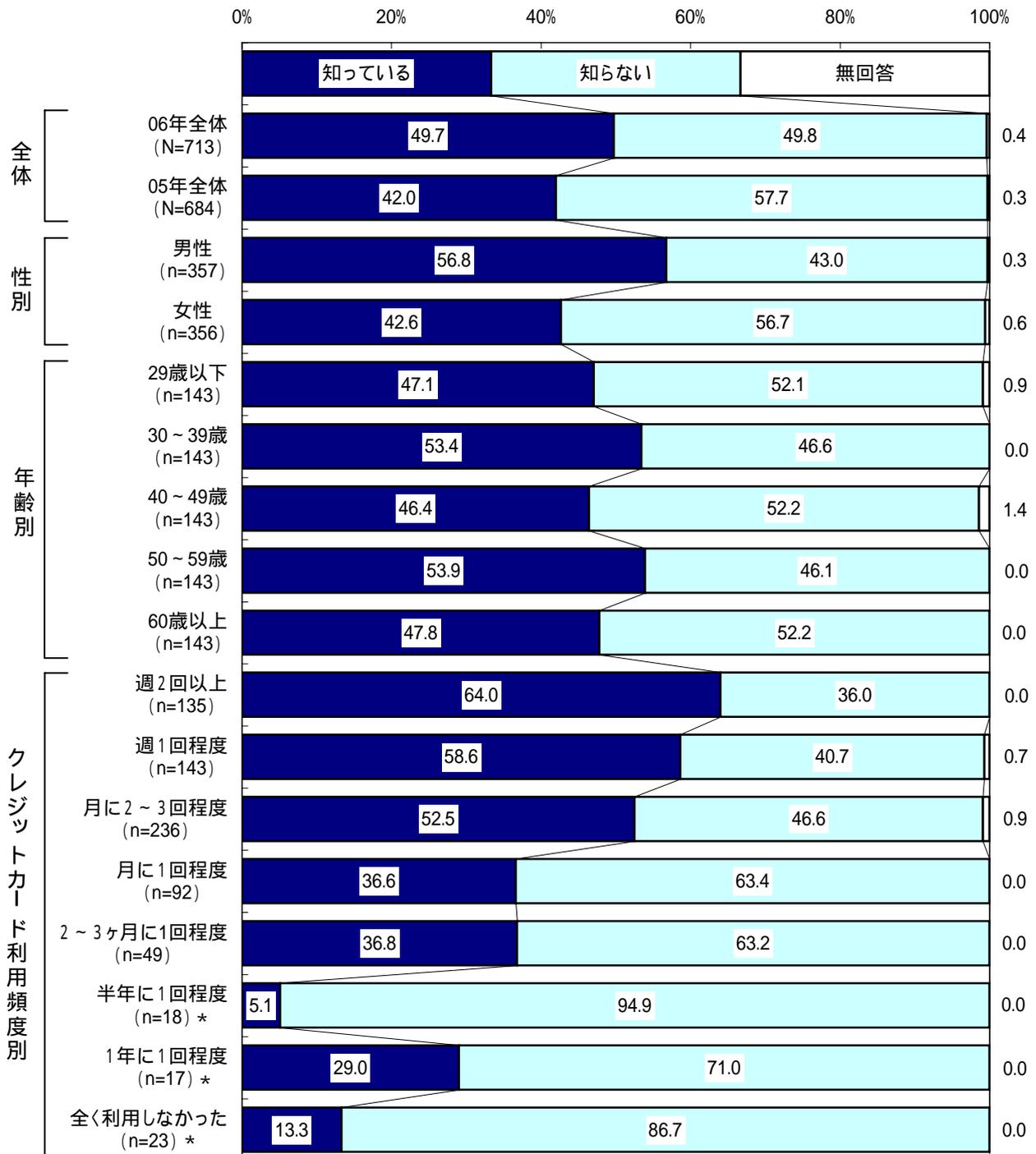


\* サンプルが少ないため、参考値

<ICクレジットカード未対応の端末では、従来通りサインをすることで利用できる>ことについては、全体の半数が「知っている」との回答。前回に比べ8ポイントの増加。  
性別では男性の認知度が57%と高く、女性と10ポイント以上の開きがある。  
年齢別でみると、30代と50代で認知度が5割を超える。  
クレジットカード利用頻度別では、利用頻度の高い層で認知度が高く、週2回以上では約3分の2にのぼる。

Q12. あなたは、以下にあげる「ICクレジットカード」の利用方法や現状をご存知ですか。(それぞれひとつずつ)

2. ICクレジットカード未対応の端末では、従来通りサインをすることで利用できる



\* サンプルが少ないため、参考値

<ICクレジットカードに対応していない端末もある>ことの認知度は、全体では48%。前回と比べても大きな差は見られない。

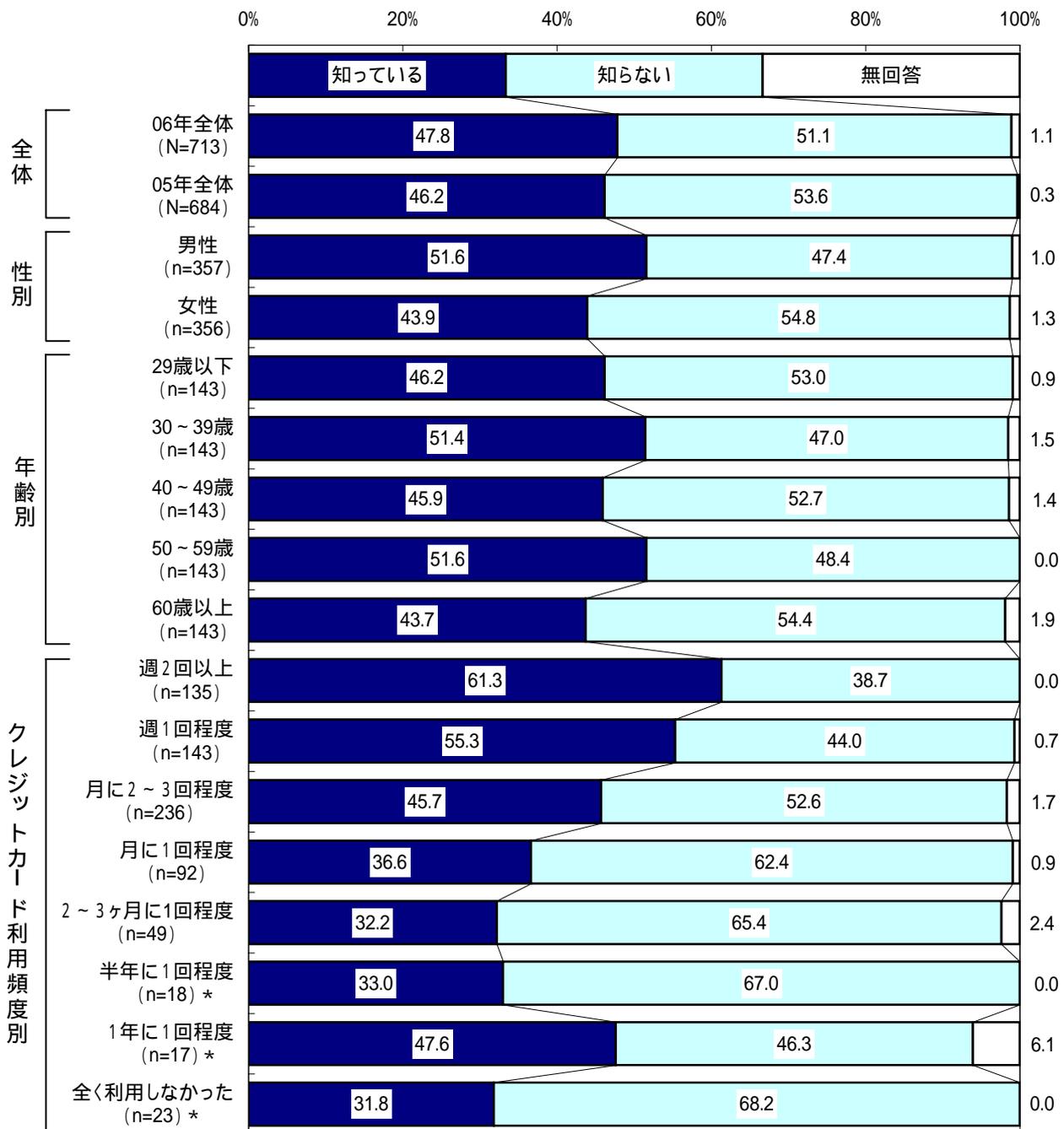
性別では男性の認知度が52%と高く、女性を8ポイント上回る。

年齢別の認知度は、30代と50代で5割強と高くなっている。

クレジットカード利用頻度別では、高頻度利用層ほど認知度が高い。

Q12. あなたは、以下にあげる「ICクレジットカード」の利用方法や現状をご存知ですか。(それぞれひとつずつ)

3. ICクレジットカードに対応していない端末もある



\* サンプルが少ないため、参考値  
 前回(05年)調査は「現段階では、まだICクレジットカードに対応していない端末も多い」で測定

<クレジットカード業界全体として順次、従来式(磁気)からICクレジットカードへ切り替えが進んでいる>この認知度は全体の57%と、前回の認知度をやや上回っている。

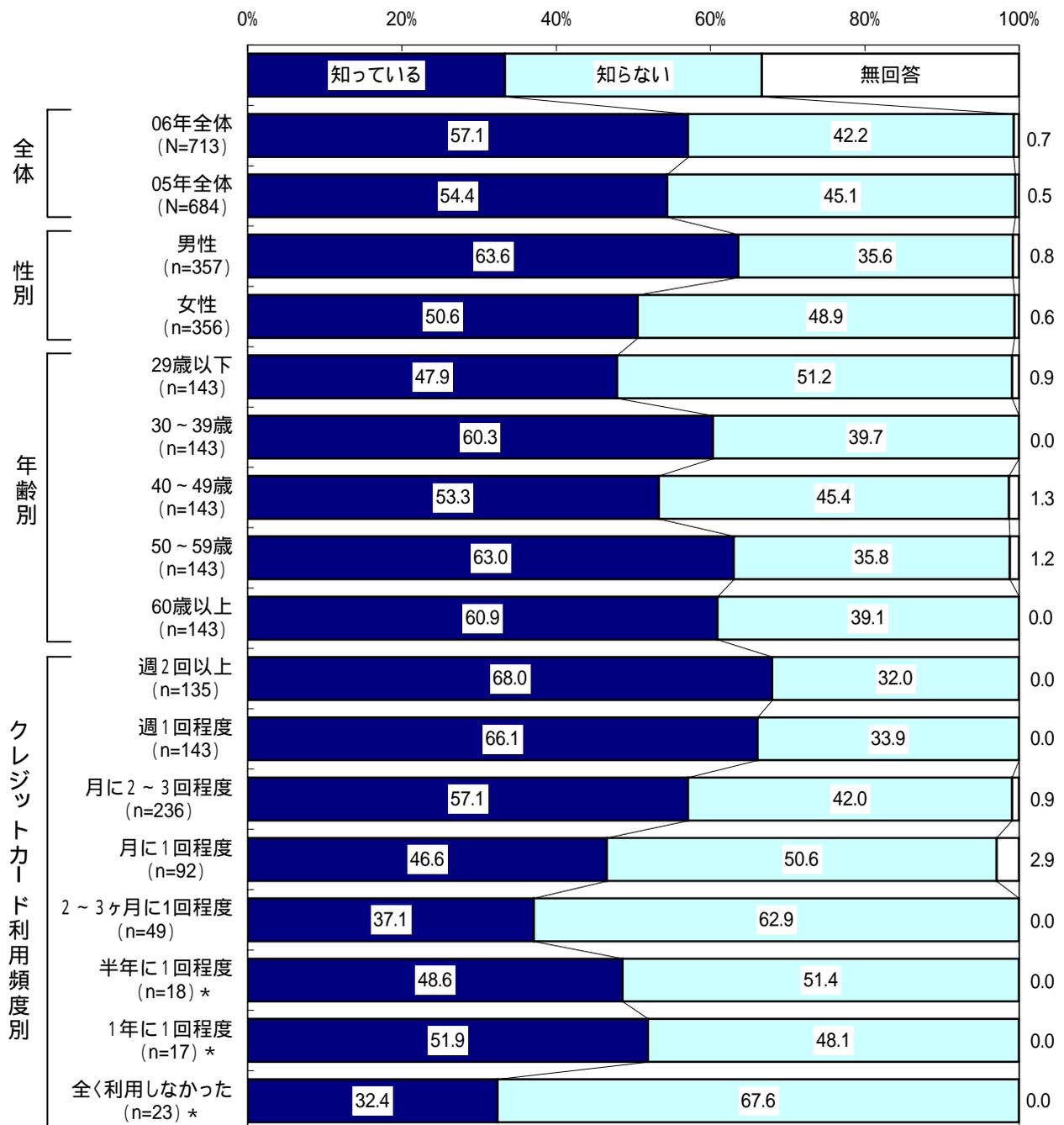
性別では他の項目同様男性の認知度が高く、64%が「知っている」と回答。一方、女性の認知度も51%と、他の項目に比べると高くなっている。

年齢別では、30代、50代以上で6割を超え高い。

クレジットカード利用頻度別でみると、利用頻度が高くなるにつれ認知度も高くなる傾向がみられ、週2回以上では約7割にのぼる。

Q12. あなたは、以下にあげる「ICクレジットカード」の利用方法や現状をご存知ですか。(それぞれひとつずつ)

4. クレジットカード業界全体として順次、従来式(磁気)からICクレジットカードへ切り替えが進んでいる



\* サンプルが少ないため、参考値

前回(05年)調査は「銀行系カード会社を中心に、順次、従来式(磁気)からICクレジットカードへ切り替えが進んでいる」で測定

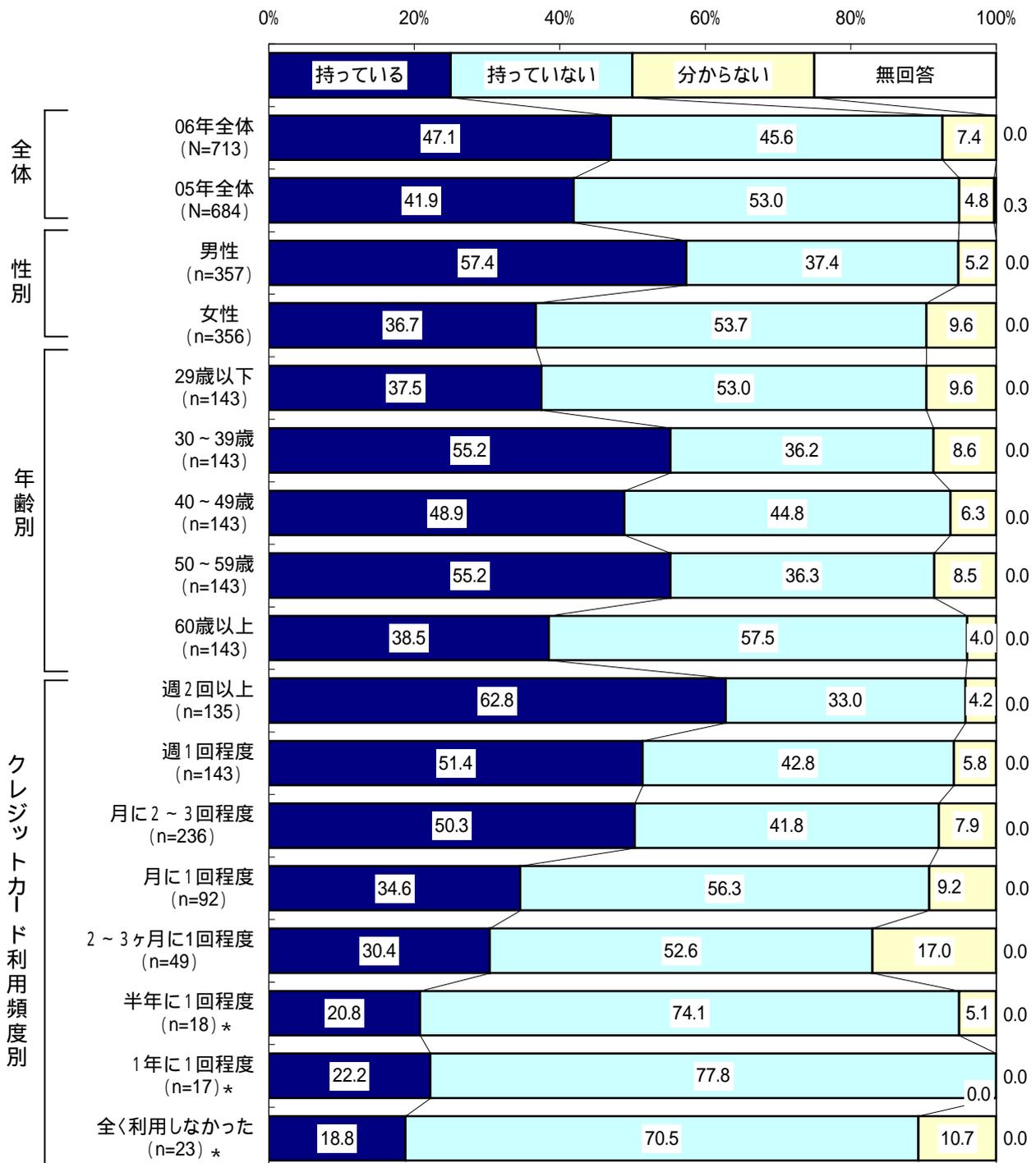
ICクレジットカードの所有状況をみると、全体の47%が「持っている」と回答。前回は5ポイント上回っており、認知度とともに所有も進みつつあることがわかる。

性別では男性の所有率が57%と高く、女性は37%にとどまる。認知状況の差がそのまま保有率の差として現れている。

年齢別では、30代と50代で55%と高い。

クレジットカード利用頻度別でみると、利用頻度が高くなるにつれ所有率も上がる傾向がみられる。

Q13. あなたは、「ICクレジットカード」をお持ちですか。(ひとつだけ)



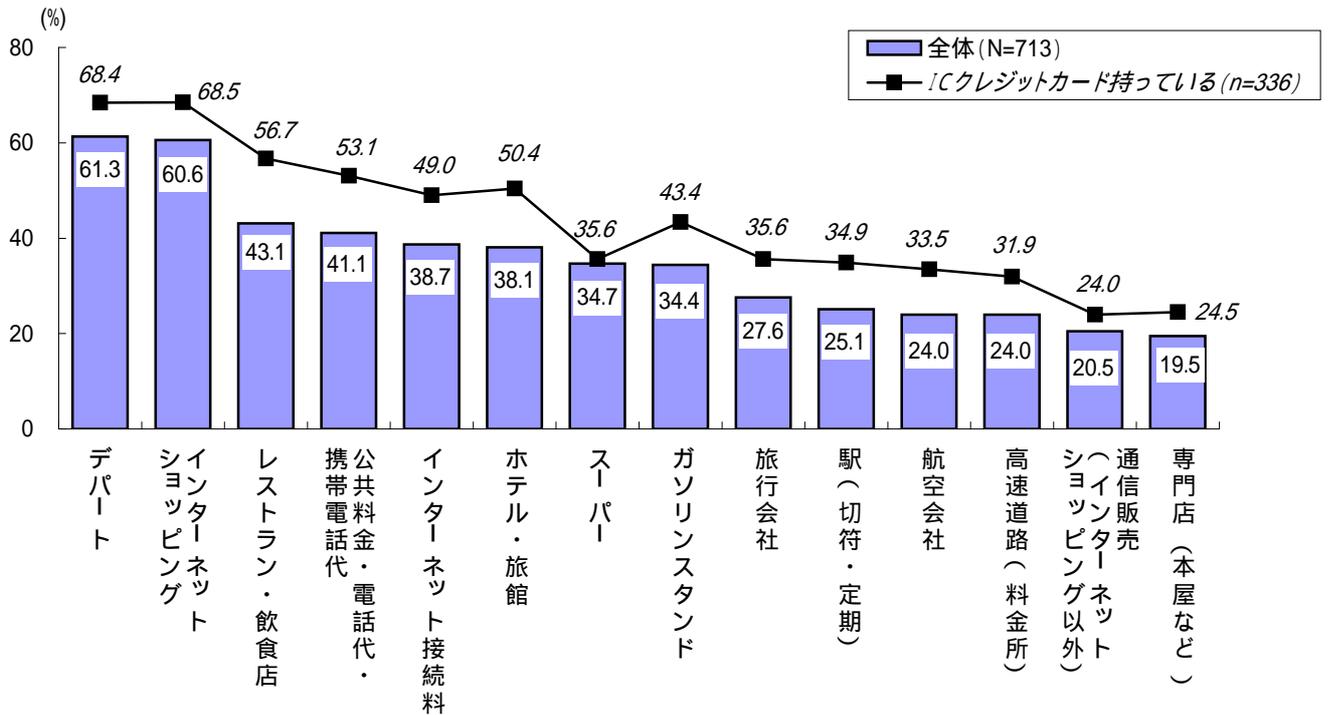
\* サンプルが少ないため、参考値

クレジットカードの利用場面・目的についてたずねたところ、全体では「デパート」、「インターネットショッピング」がともに全体の6割を超え、3位以下に18ポイントの差をつけている。

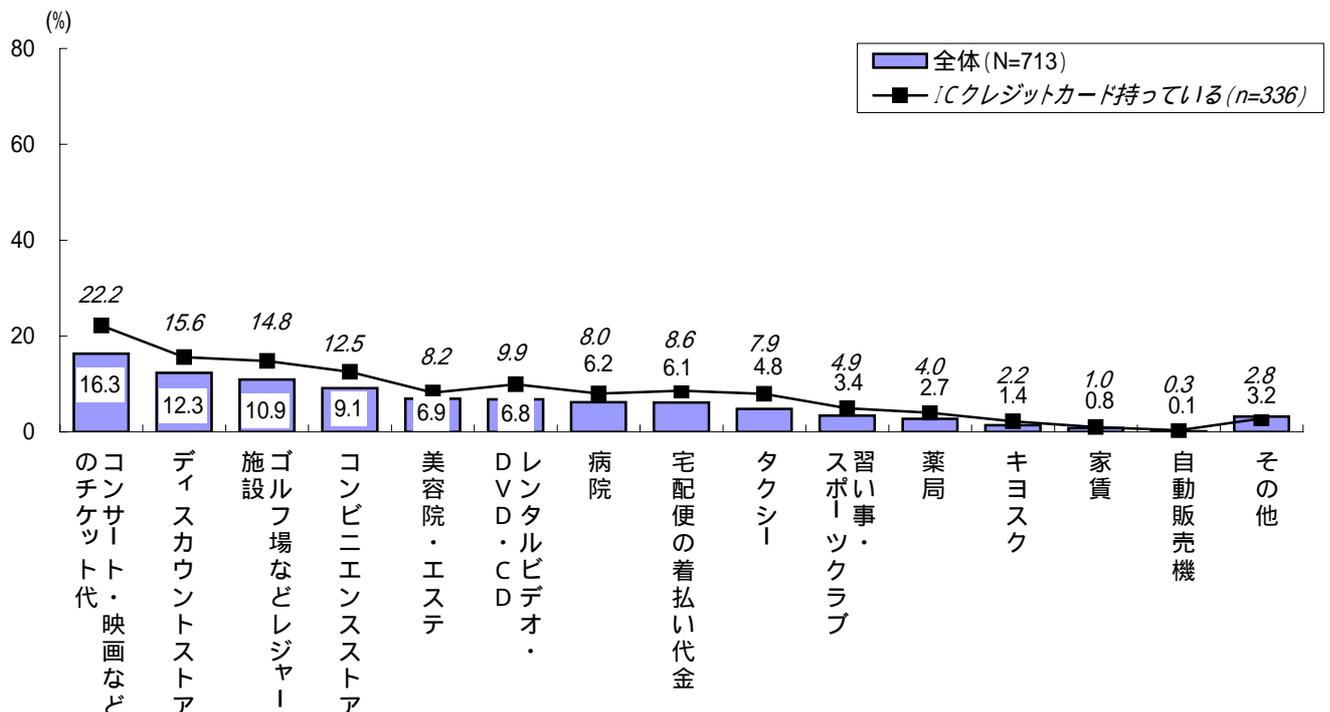
ICクレジットカードを持っている人も「インターネットショッピング」と「デパート」での利用がともに7割弱で拮抗、ICクレジットカード保有者は一般のクレジットカード保有者に比べ、クレジットカードの使用場面が広範に渡っており、「レストラン・飲食店」「公共料金・電話代・携帯電話代」「インターネット接続料」「ホテル・旅館」での利用は10ポイント以上上回っている。

Q6. あなたはどのような場面や目的でクレジットカードを利用しますか。(いくつでも)

< 1位～14位 >



< 15位以下 >

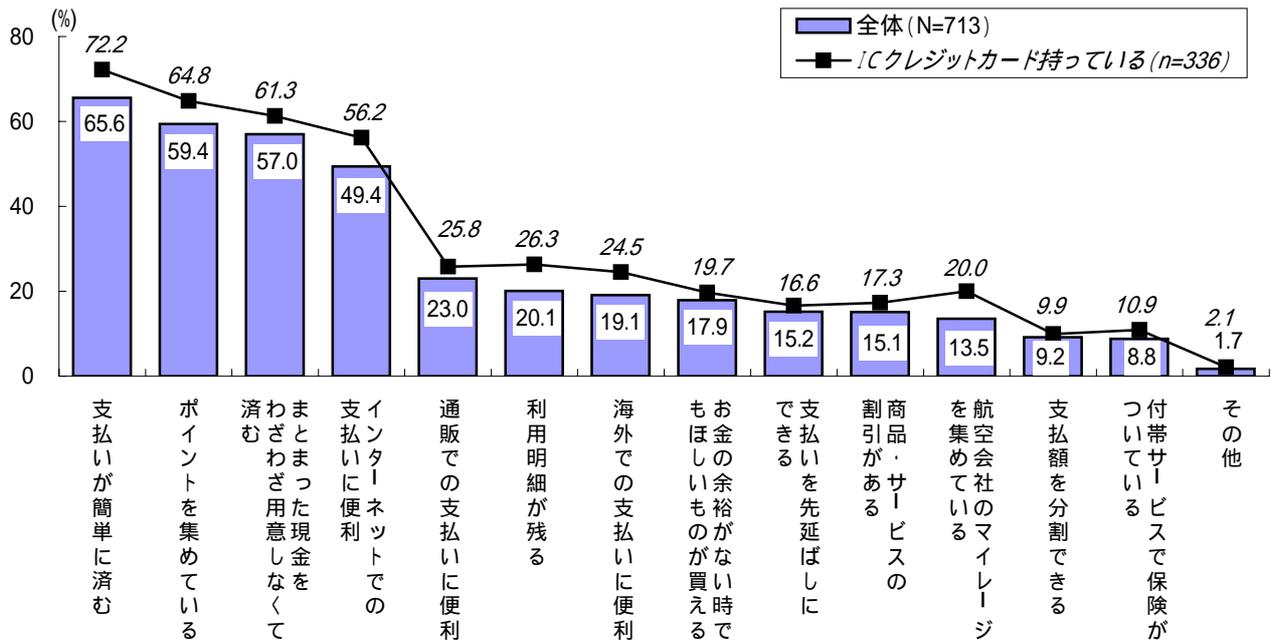


クレジットカードを利用する理由については、全体では「支払いが簡単に済む」(66%)との回答が最も多く、次いで「ポイントを集めている」(59%)、「まとまった現金をわざわざ用意しなくて済む」(57%)、「インターネットでの支払いに便利」(49%)の順。

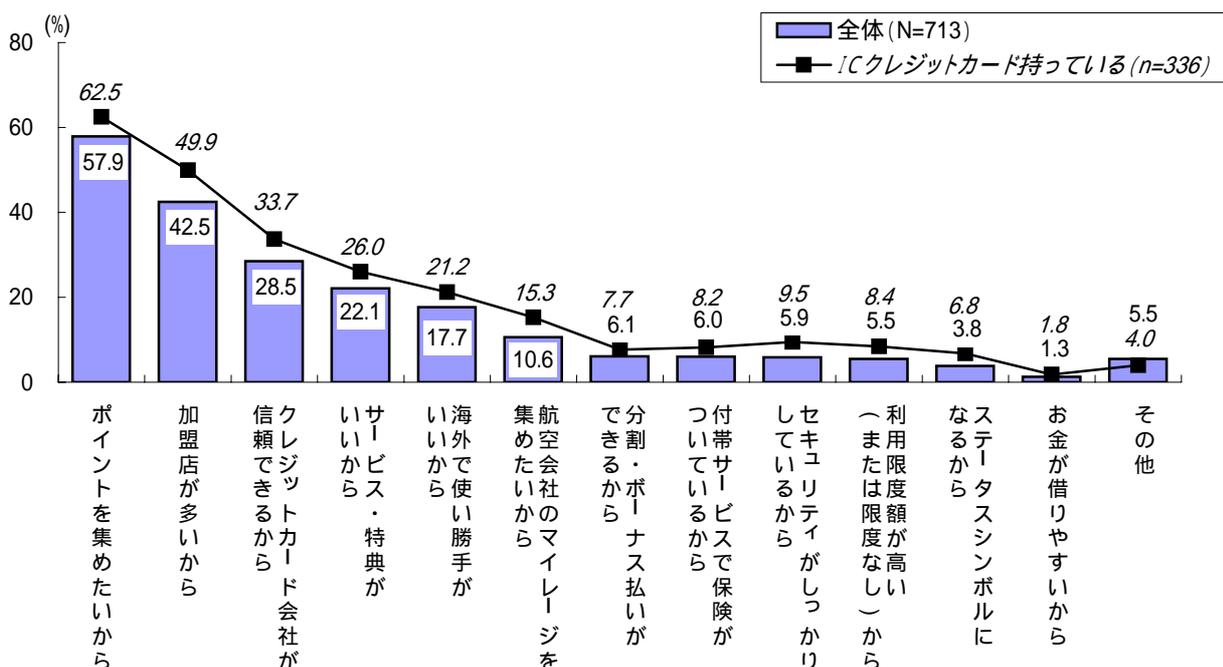
ICクレジットカードを持っている人も上位4項目の順位に変わりはないが、全般にスコアが高く、「支払いが簡単に済む」「インターネットでの支払いに便利」「航空会社のマイレージを集めている」はそれぞれ全体を7ポイント上回っている。

最もよく利用するクレジットカードについては、「ポイントを集めたいから」(58%)がトップ。

Q7. あなたがクレジットカードを利用する理由は何ですか。(いくつでも)



Q8. 最もよく利用するクレジットカードについておうかがいします。そのクレジットカードを利用する理由は何ですか。(いくつでも)

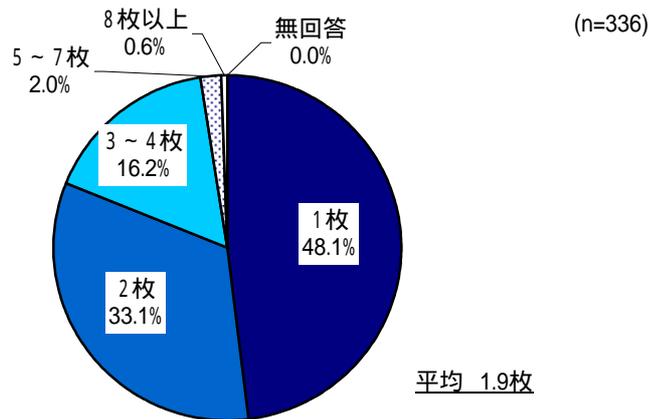


ICクレジットカードの所有枚数をたずねたところ、「1枚」との回答が48%で最も多く、次いで「2枚」(33%)、「3～4枚」(16%)の順。クレジットカード会社側のIC化対応にばらつきがあるせいも、保有枚数全体の中ではIC化の進展は限定的なものとなっている。

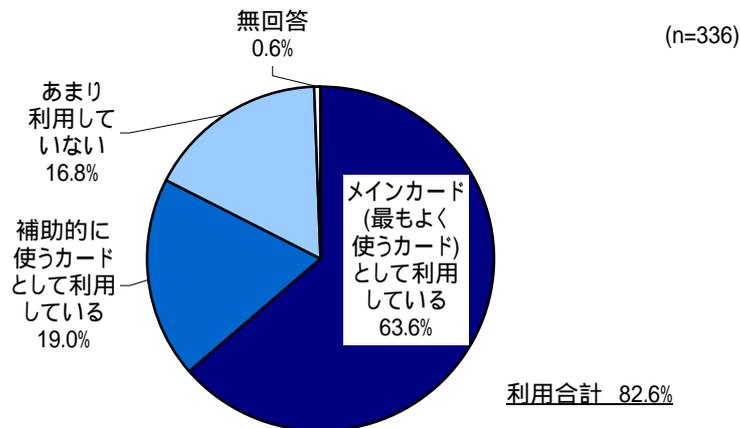
ICクレジットカードの利用状況については、「メインカードとして利用している」人が64%と過半数を占め、「補助的に使うカードとして利用している」(19%)まで含めると、8割以上の人がICクレジットカードを利用している。

ICクレジットカードを利用できる店舗が身近に「ある」と答えたのは3割にとどまり、全体の7割が「分からない」と回答。

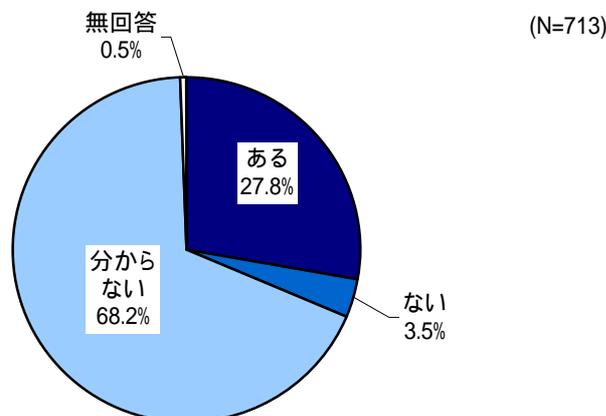
Q14.(Q13で「持っている」とお答えの方に)「ICクレジットカード」を何枚持っていますか。(ひとつだけ)



Q15.(Q13で「持っている」とお答えの方に)「ICクレジットカード」を利用していますか。(ひとつだけ)



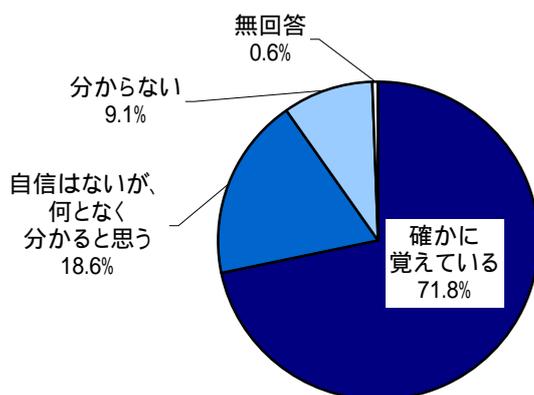
Q21.ICクレジットカードを利用できるお店は、身近にありますか。(ひとつだけ)



「ICクレジットカードを持っている」と答えた人に、ICクレジットカードの暗証番号を覚えているかたずねたところ、「確かに覚えている」が72%で、「自信はないが、何となく分かると思う」が19%、「分からない」は9%であった。暗証番号の照会方法については、「知らない」(55%)が半数を超え、「知っている」(43%)を上回っている。暗証番号の照会方法が分かっていたとしたら、約9割が「照会をしようと思う」と答えている。

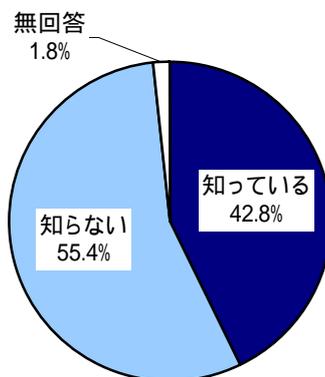
Q16. (Q13で「持っている」とお答えの方に)  
お持ちの「ICクレジットカード」の暗証番号を覚えていますか。(ひとつだけ)

(n=336)



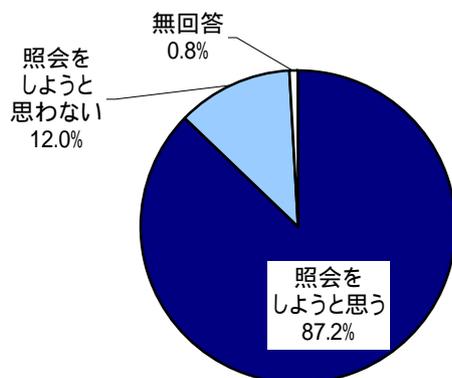
Q17. (Q13で「持っている」とお答えの方に)  
暗証番号が分からなくなった場合の照会方法をご存知ですか。(ひとつだけ)

(n=336)



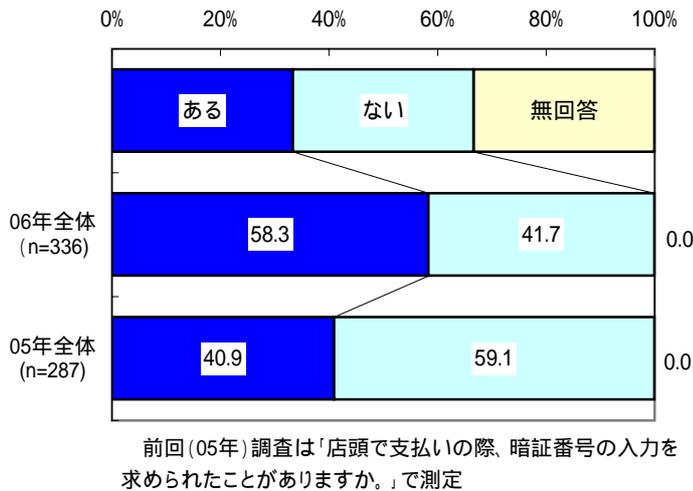
Q18. (Q13で「持っている」とお答えの方に)  
暗証番号が分からなくなった場合、照会方法が分かっていたら照会をしようと思いますか。(ひとつだけ)

(n=336)

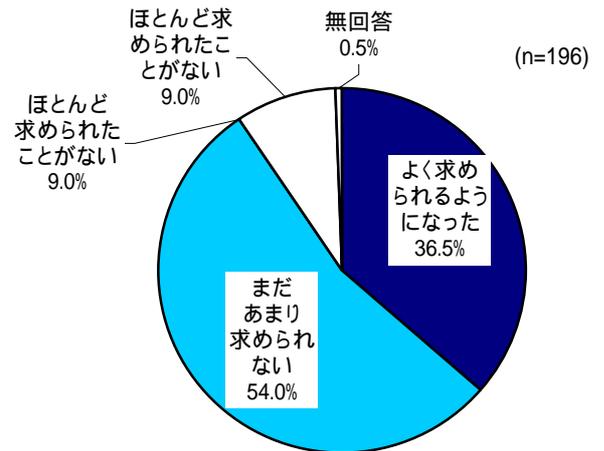


ICクレジットカード所有者に、店頭で支払いの際に暗証番号の入力を求められたことがあるかをたずねたところ、「ある」が58%で、「ない」(42%)を上回った。「ある」と答えた人は、前回(41%)より17ポイント増加した。暗証番号の入力を求められる頻度については、過半数が「まだあまり求められない」と回答している。暗証番号を求められた際には、8割強が「暗証番号を入力した」とし、約2割が「サインで済ませた」。暗証番号を入力しなかった理由は、「暗証番号がわからなかったから」が72%と最も多く、次いで「サインでもいいと言われたから」(46%)であった。

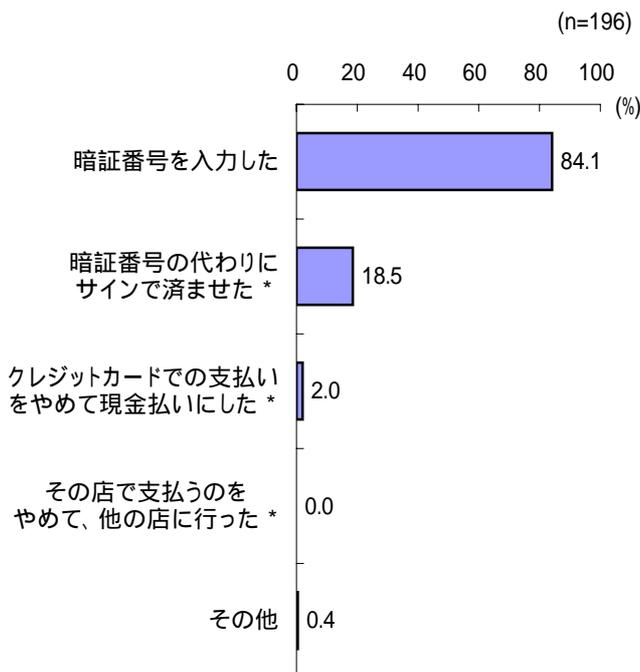
Q19. (Q13で「持っている」とお答えの方に)  
店頭で「ICクレジットカード」での支払いの際、暗証番号の入力を求められたことがありますか。(ひとつだけ)



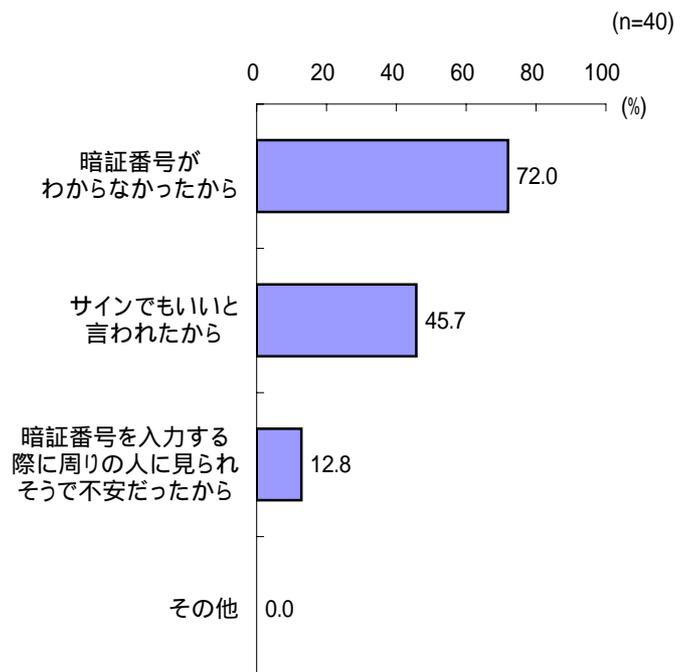
Q19SQ1. (Q19で「ある」とお答えの方に)  
店頭で「ICクレジットカード」での支払いの際、暗証番号の入力をよく求められますか。(ひとつだけ)



Q19SQ2. (Q19で「ある」とお答えの方に)  
暗証番号を求められた際にどう対応しましたか。(いくつでも)



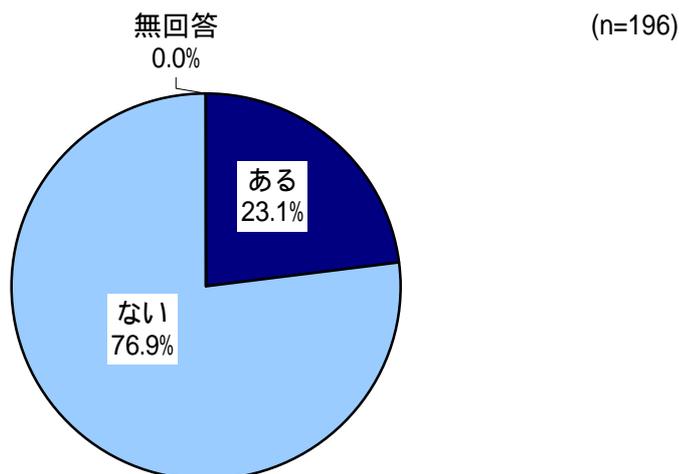
Q19SQ2. SSQ1. (Q19SQ2で「\*」とお答えの方に)  
暗証番号を入力しなかったのはなぜですか。(いくつでも)



「暗証番号の入力を求められたことがある」と答えた人に、暗証番号の入力についてたずねたところ、面倒だと感じたことが「ある」人は23%にとどまり、「ない」と答えた人は77%。

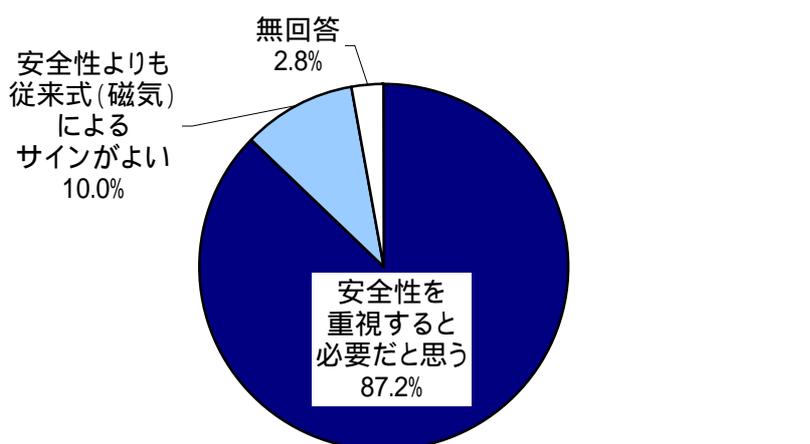
面倒だと感じた人に、ICクレジットカードを利用する際に暗証番号の入力が必要かどうかをたずねたところ、約9割が「安全性を重視すると必要だと思う」と回答。

Q19SQ3 . (Q19で「ある」とお答えの方に)店頭で「ICクレジットカード」での支払いの際、暗証番号の入力を面倒だと感じたことはありますか。(ひとつだけ)



Q19SQ3.SSQ2 (Q19SQ3で「ある」とお答えの方に)

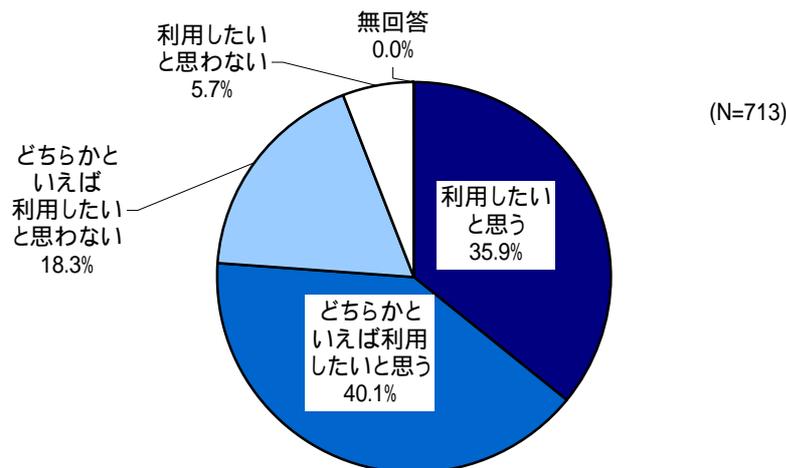
「ICクレジットカード」を利用する際に暗証番号の入力は必要だと思いますか。(ひとつだけ)



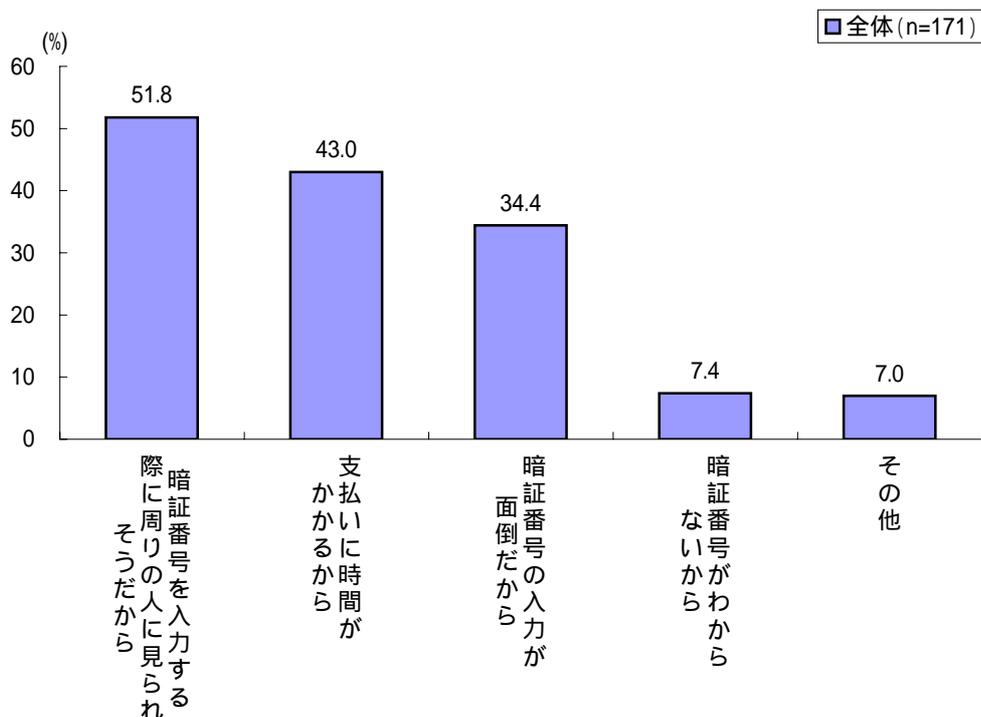
今後、デパートの食料品売場・スーパーなどでも暗証番号の入力が必要になった場合、ICクレジットカードを引き続き利用するかをたずねたところ、「利用したいと思う」が36%で、「どちらかといえば利用したいと思う」(40%)を合わせた76%が肯定姿勢を示した。

利用したいと思わない人に理由をたずねたところ、「暗証番号を入力する際に周りの人に見られそうだから」が(52%)と最も多く、次いで「支払いに時間がかかるから」(43%)、「暗証番号の入力が面倒だから」(34%)の順。

Q25. 現在、百貨店の食料品売場・スーパーなどでは、クレジットカードでの支払の際にサインがいらない場合があります。今後、ICクレジットカードを利用する際に、セキュリティの観点からデパートの食料品売場・スーパーなどでも暗証番号の入力が必要になった場合、引き続きクレジットカードを利用したいと思いますか。(ひとつだけ)

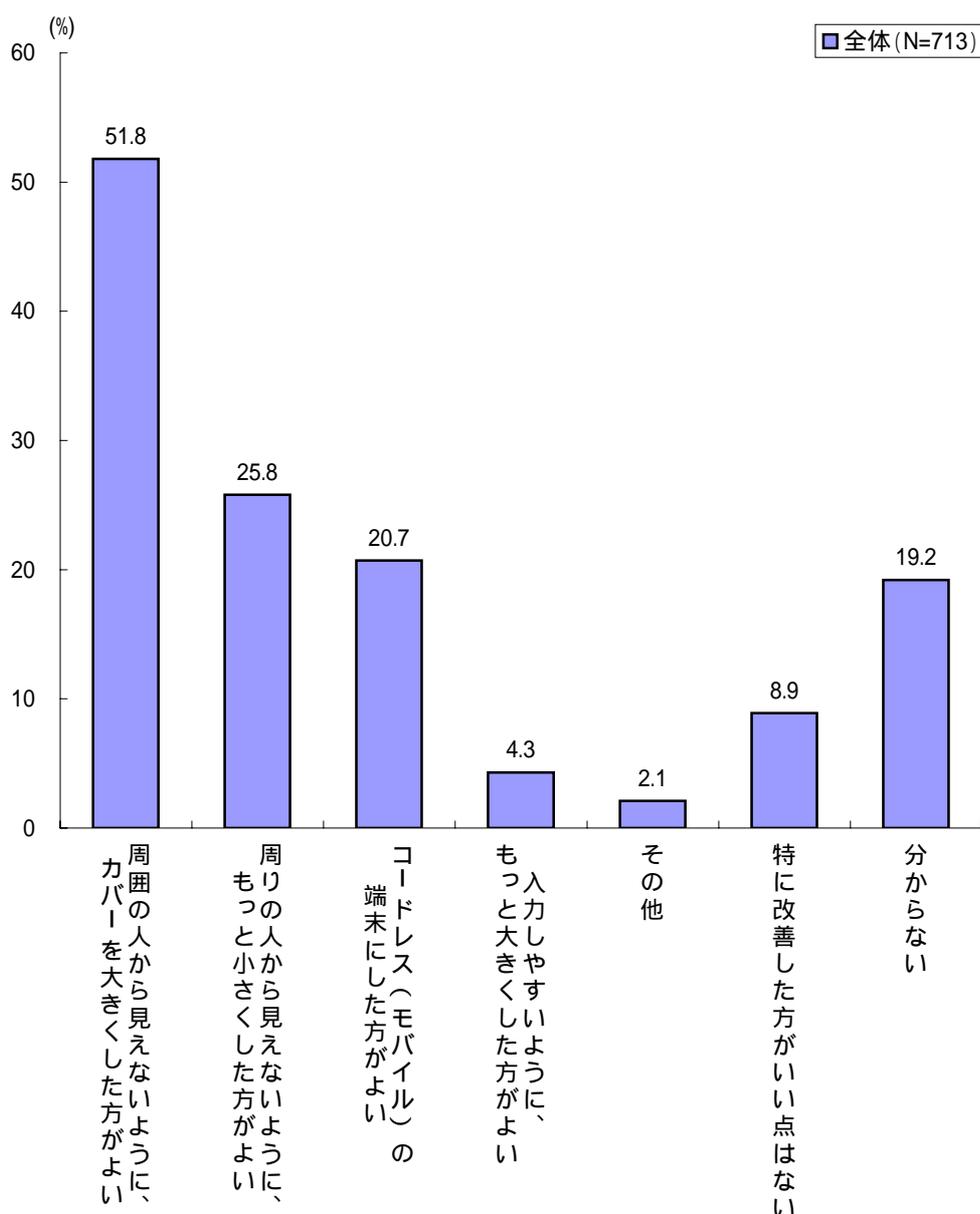


Q25SQ1. (Q25で「どちらかといえば利用したいと思わない」「利用したいと思わない」とお答えの方に) 利用したいと思わない理由は何ですか。(いくつでも)



ICクレジットカードの暗証番号入力機の改善点をたずねたところ、「周囲の人から見えないように、カバーを大きくしたほうがよい」が最も多く52%。次いで、「周りの人から見えないように、もっと小さくした方がよい」(26%)、「コードレス(モバイル)の端末にした方がよい」(21%)の順。

Q22. 暗証番号入力機について、どこを改善した方がよいと思いますか。(いくつでも)

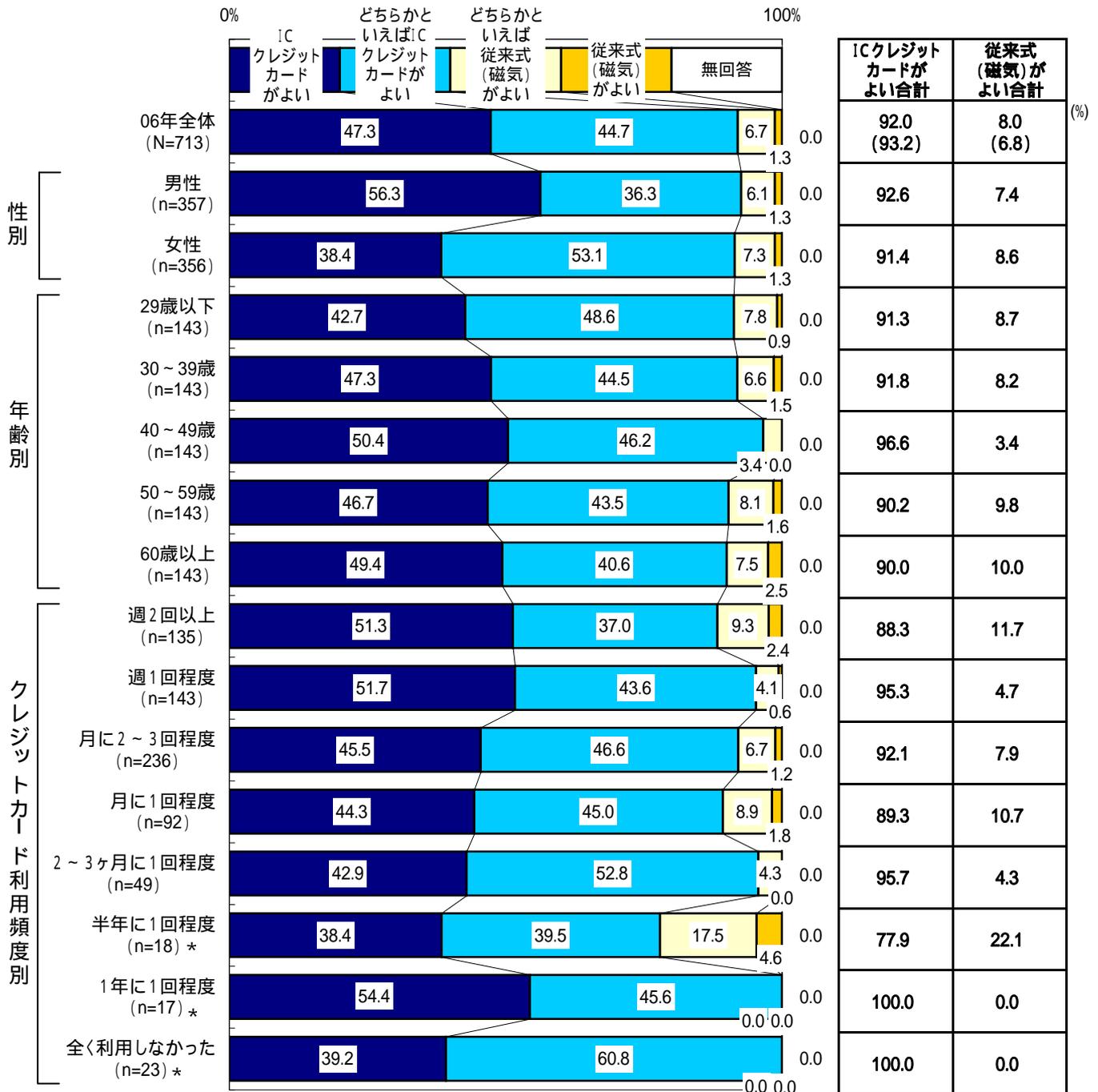


# ICクレジットカードの利用意向

## 1. 今後のクレジットカードの利用意向

今後のクレジットカードの利用意向は、前回とほぼ同様に全体の9割が「ICクレジットカードがよい+どちらかといえばICクレジットカードがよい」で、従来式(磁気)カード支持は1割未満にとどまる。  
性別では、男性の過半数が「ICクレジットカードがよい」とし、女性を18ポイント上回る。  
年齢別では、どの年代でも支持は高いが、特に40代の「ICクレジットカード支持は97%」。  
クレジットカード利用頻度別では、週に2回以上と週1回程度の高頻度利用層で「ICクレジットカードがよい」が半数を超えた。

Q20. あなたは、今後クレジットカードを使うとしたらどちらがよいと思いますか。(ひとつだけ)



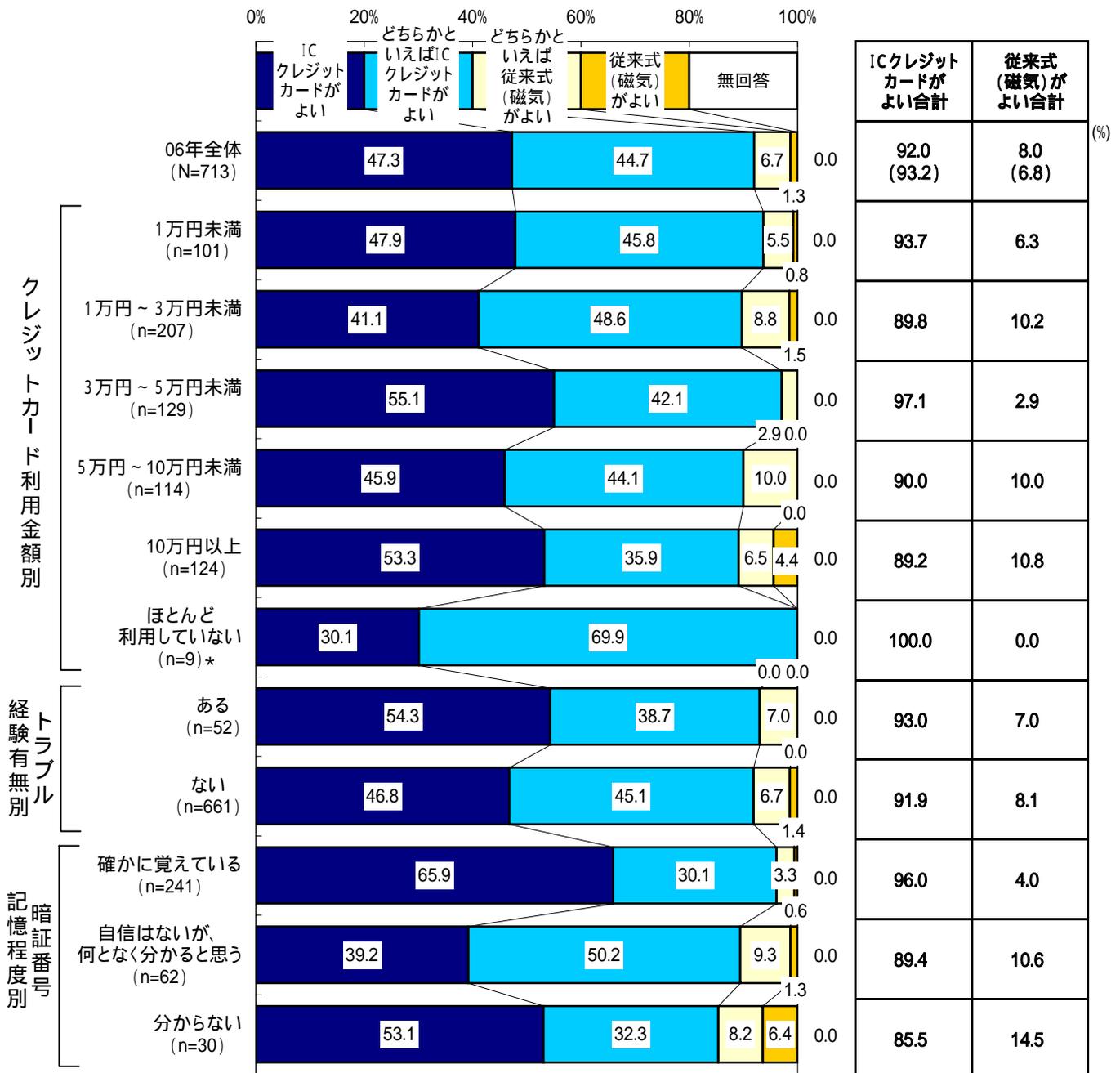
下段( )内は前回(05年)のスコア

前回(05年)は、「ICクレジットカードがよい」、「従来式(磁気)がよい」で測定

\* サンプルが少ないため、参考値

クレジットカード利用金額別に今後のクレジットカード利用意向をみると、3万円～5万円未満と10万円以上の層では「ICクレジットカードがよい」が5割強と多い。  
 トラブル経験有無別では、トラブルの経験がある層の54%が「ICクレジットカードがよい」とし、経験がない層を上回った。  
 暗証番号記憶程度別では、確かに覚えている層の66%が「ICクレジットカードがよい」とした。

Q20. あなたは、今後クレジットカードを使うとしたらどちらがよいと思いますか。(ひとつだけ)



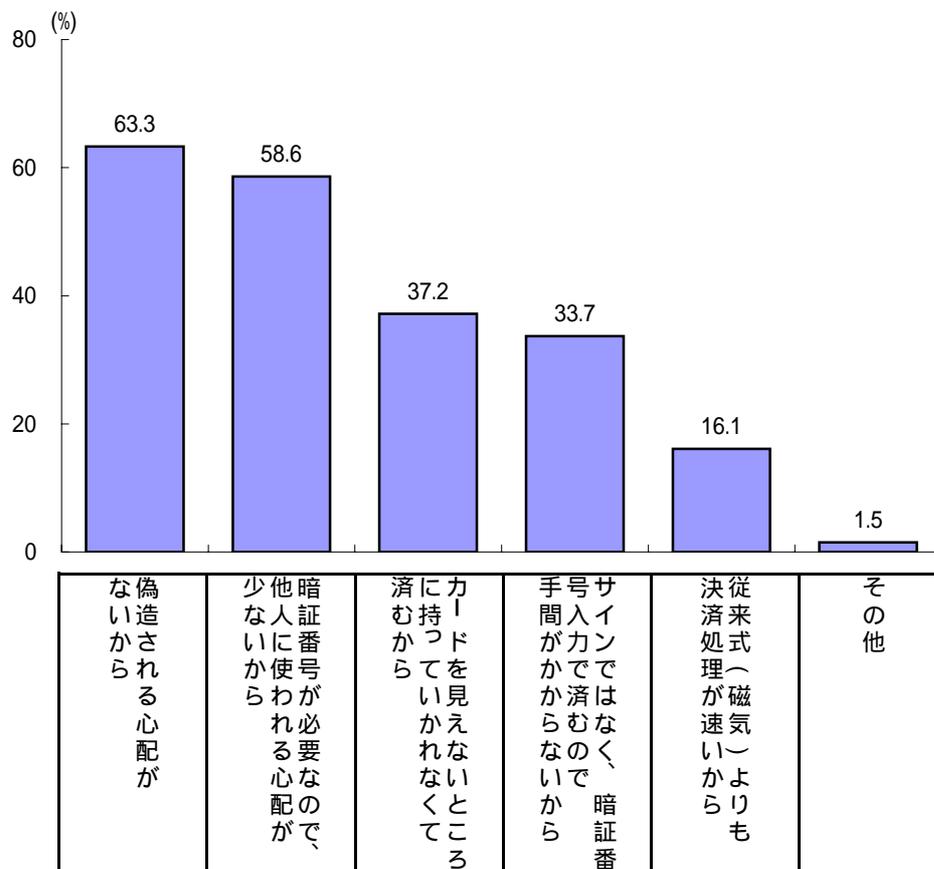
下段( )内は05年のスコア  
 前回(05年)は、「ICクレジットカードがよい」、「従来式(磁気)がよい」で測定  
 \* サンプルが少ないため、参考値

ICクレジットカード利用意向者にその理由をたずねたところ、「偽造される心配がないから」(63%)との回答が最も多く、次いで「暗証番号が必要なので、他人に使われる心配が少ないから」(59%)、「カードを見えないところに持っていかれなくて済むから」(37%)、「サインではなく、暗証番号入力で済むので手間がかからないから」(34%)の順。

属性別でみると、年齢別の60歳以上の層で全般にスコアが高く、「暗証番号が必要なので他人に使われる心配が少ないから」は、全体を10ポイント上回っている。

Q20SQ1.(Q20で「ICクレジットカードがよい」「どちらかといえばICクレジットカードがよい」とお答えの方に)ICクレジットカードがよいとお考えの理由は何ですか。(いくつでも)

(n=656)



性別	男性	(n=330)	66.1	54.0	32.5	36.3	16.0	1.5
	女性	(n=326)	60.5	63.3	42.0	31.1	16.2	1.4
年齢別	29歳以下	(n=130)	60.0	49.5	26.7	34.3	17.2	1.9
	30～39歳	(n=131)	67.5	56.9	37.9	29.1	16.8	0.8
	40～49歳	(n=138)	59.1	56.7	36.4	32.1	13.0	2.8
	50～59歳	(n=129)	63.2	60.8	39.4	33.8	17.1	1.8
	60歳以上	(n=128)	66.8	69.4	45.9	39.5	16.7	0.0

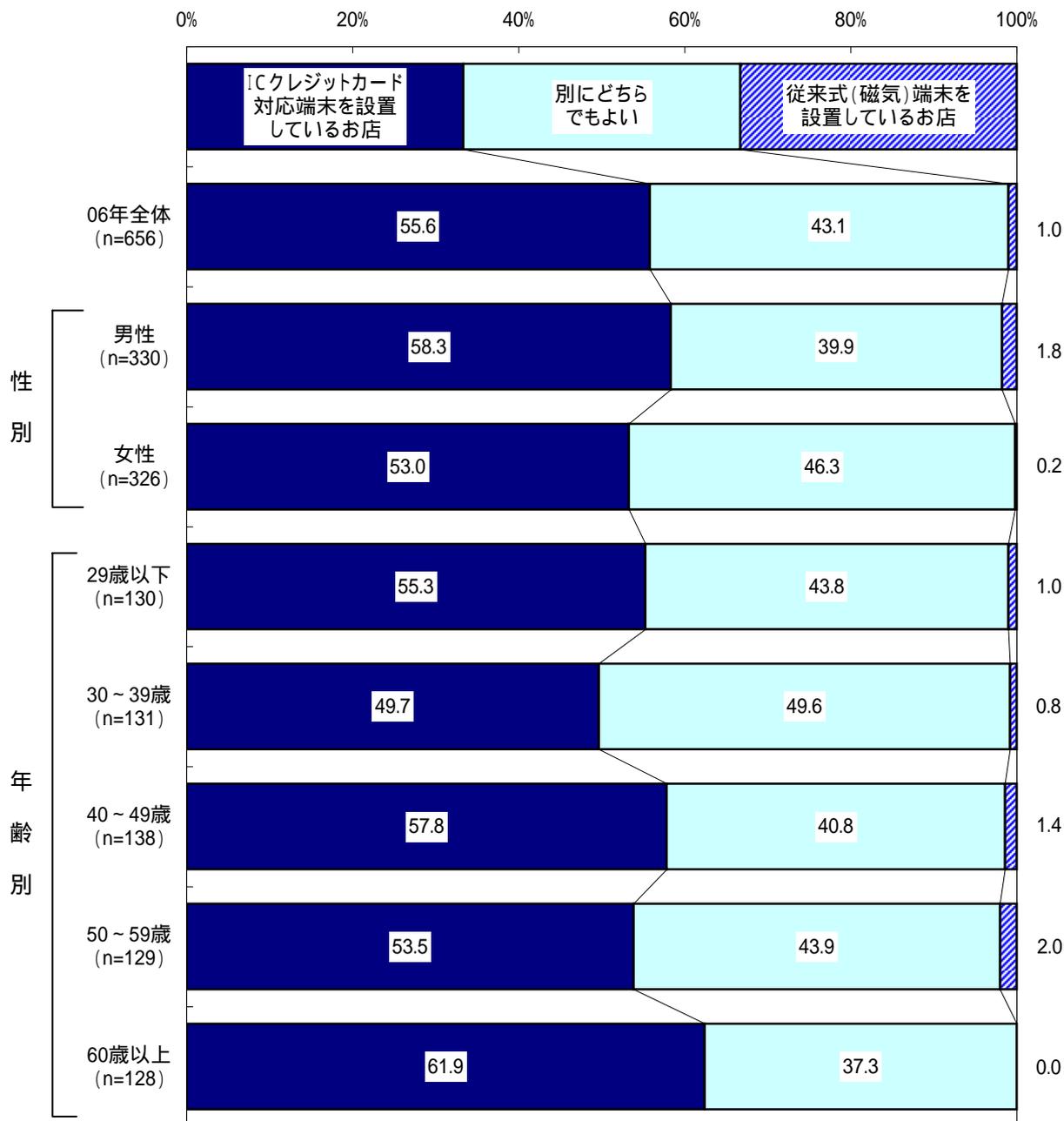
\*全体値より5ポイント以上高いスコアに網掛け

ICクレジットカード利用意向者の56%は、利用の際「ICクレジットカード対応端末を設置しているお店」を選ぶとし、「従来式(磁気)対応端末を設置しているお店」を選ぶ人はわずか1%。「別にどちらでもよい」との回答も43%みられるが、ICクレジットカード対応端末の設置は利用者にとらえられている。

性別では男性の58%が「ICクレジットカード対応端末を設置しているお店」を選択するとし、女性(53%)を5ポイント上回る。

年齢別では、60歳以上の層で「ICクレジットカード対応端末を設置しているお店」を選択する割合が6割強と高い。

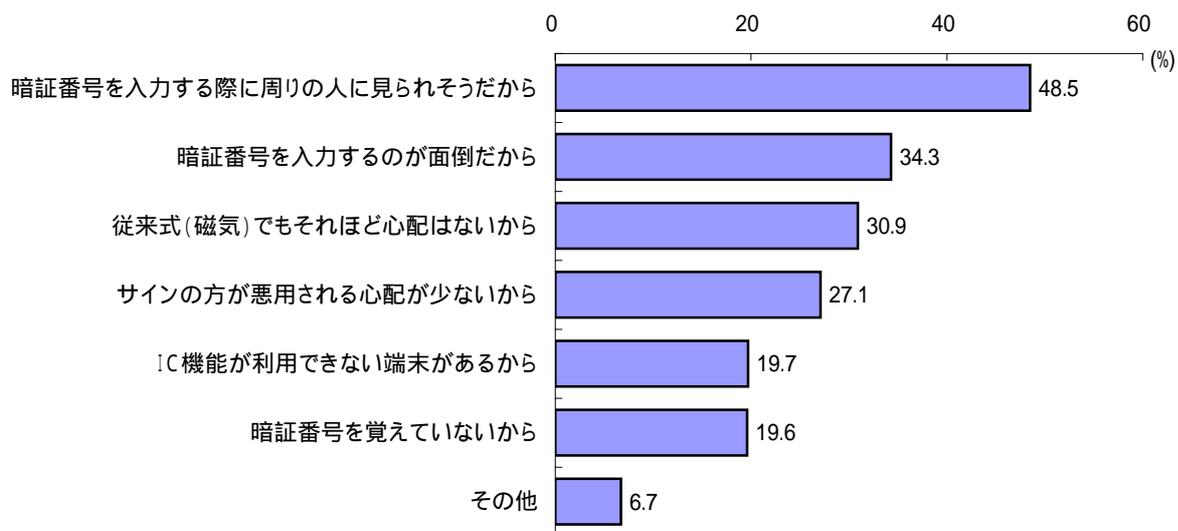
Q20SQ2. (Q20で「ICクレジットカードがよい」「どちらかといえばICクレジットカードがよい」とお答えの方に)あなたは、クレジットカードを使うとしたらどちらのお店を選びますか(ひとつだけ)



今後もクレジットカードを使う場合には「従来式(磁気)がよい」と答えた人の理由は、「暗証番号を入力するのが周りの人に見られそうだから」(49%)が最も多く、次いで「暗証番号を入力するのが面倒だから」(34%)と続く。「暗証番号を周りの人に見られそうだ」という不安は、ICクレジットカード利用意向者の不安要素ともいえる。ICクレジットカードを利用するための条件では、「IC機能が利用できる端末が普及したら」が51%で最も多く、続く「本人確認が、暗証番号の入力ではなくサインなら」(30%)と21ポイントの差。

Q20SQ3. (Q20で「どちらかといえば従来式(磁気)がよい」「従来式(磁気)がよい」とお答えの方に) 従来式(磁気)がよいとお考えの理由は何ですか。(いくつでも)

(n=57)



Q20SQ4. (Q20で「どちらかといえば従来式(磁気)がよい」「従来式(磁気)がよい」とお答えの方に) どんな条件が整えばICクレジットカードを利用したいと思いますか。(いくつでも)

(n=57)

